

S U P E R
FORMULA



2021 SUPER FORMULA MEDIA GUIDE



Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

ThreeBond

Broadcasting Partner

BSフジ J SPORTS

Supporting Companies

ニッキイチ **B.R.M.**

2021 SUPER FORMULA Media Guide

2021 開催日程	3
エントリーリスト	4
賞典	5
メディア配信	6
車両規定抜粋	7
スポーティングレギュレーション抜粋	8
チーム&ドライバー紹介	9
サーキットガイド	34
2020 レースリザルト	37
1996-2020 ポイントランキング	39
歴代チャンピオン	52
SUPER FORMULA記録集	55
肖像権について	58

SUPER FORMULA Official Website メディア会員にご登録ください。

<http://superformula.net> ⇒ メディア

メディア会員専用ページでは、メディアの方向けの各種ご案内メール配信サービスを行っております。ご登録の上、ご活用ください。



2021 SUPER FORMULA SCHEDULE

2021 SUPER FORMULA 開催日程

ラウンド	日程	開催地	予選方式	レース	併催レース
第1戦	4/3(土)～4(日)	富士スピードウェイ 静岡県	ノックアウト	187.083km	・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第1・2・3戦 ・TCRジャパンシリーズ第1戦
第2戦	4/24(土)～25(日)	鈴鹿サーキット 三重県	ノックアウト	174.210km	・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第4・5・6戦 ・MFJ全日本ロードレース選手権(JSB1000)
第3戦	5/15(土)～16(日)	オートポリス 大分県	ノックアウト	196.308km	・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第7・8・9戦 ・TCRジャパンシリーズ第2戦
第4戦	6/19(土)～20(日)	スポーツランドSUGO 宮城県	ノックアウト	190.09km	・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第10・11・12戦
第5戦	8/28(土)～29(日)	ツインリンクもてぎ 栃木県	ノックアウト	168.035km	・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第13・14・15戦 ・TCRジャパンシリーズ第4戦
第6戦	10/16(土)～17(日)	ツインリンクもてぎ 栃木県	ノックアウト	未定	・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第16・17戦 ・TCRジャパンシリーズ第5戦
第7戦	10/30(土)～31(日)	鈴鹿サーキット 三重県	ノックアウト	174.210km	・TCRジャパンシリーズ第6戦

※ 日程や内容は変更になる場合があります。



2021 SUPER FORMULA ENTRY LIST

2021年エントリーリスト

No.	ドライバー	車名	チーム名(読み)	監督	エンジン
1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto 1988/7/11生 日本/栃木県	TCS NAKAJIMA RACING SF19	TCS NAKAJIMA RACING (ティーシーエス・ナカジマレーシング)	中嶋 悟	Honda/M-TEC HR-417E
64	大湯 都史樹 Toshiki Oyu 1998/8/4生 日本/北海道	TCS NAKAJIMA RACING SF19			
3	山下 健太 Kenta Yamashita 1995/8/3生 日本/千葉県	ORIENTALBIO KONDO SF19	KONDO RACING (コンドーレーシング)	近藤 真彦	TOYOTA/TRD TRD01F
4	サッシャ・フェネストラズ Sacha Fenestraz 1999/7/28生 フランス	ORIENTALBIO KONDO SF19			
5	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi 1997/1/24生 日本/徳島県	DOCOMO DANDELION M5S SF19	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	吉田 則光	Honda/M-TEC HR-417E
6	牧野 任祐 Tadasuke Makino 1997/6/28生 日本/大阪府	DOCOMO DANDELION M6Y SF19			
7	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi 1986/9/13生 日本/兵庫県	KCMG Elyse SF19	KCMG (ケーシーエムジー)	松田 次生	TOYOTA/TRD TRD01F
18	国本 雄資 Yuji Kunimoto 1990/9/12生 日本/神奈川県	KCMG Elyse SF19			
12	タチアナ・カルデロン Tatiana Calderon 1993/3/10生 コロンビア	ThreeBond DragoCORSE SF19	ThreeBond DragoCORSE (スリーボンドドラゴコルセ)	道上 龍	Honda/M-TEC HR-417E
14	大嶋 和也 Kazuya Oshima 1987/4/30生 日本/群馬県	NTT Communications ROOKIE SF19	NTT Communications ROOKIE (エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ・ルーキー)	片岡 龍也	TOYOTA/TRD TRD01F
15	大津 弘樹 Hiroki Otsu 1994/5/25生 日本/埼玉県	TEAM MUGEN SF19	Red Bull MUGEN Team Goh (レッドブル・ムゲン・チーム・ゴウ)	田中 洋克	Honda/M-TEC HR-417E
16	野尻 智紀 Tomoki Nojiri 1989/9/15生 日本/茨城県	TEAM MUGEN SF19	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)		
19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi 1987/12/29生 日本/東京都	carenex TEAM IMPUL SF19	carenex TEAM IMPUL (カーエネクス チーム インバル)	星野 一義	TOYOTA/TRD TRD01F
20	平川 亮 Ryo Hirakawa 1994/3/7生 日本/広島県	carenex TEAM IMPUL SF19			
36	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima 1985/1/11生 日本/愛知県	Kuo VANTELIN TOM'S SF19	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S (クオ バンテリンチーム トムス)	館 信秀	TOYOTA/TRD TRD01F
37	宮田 莉朋 Ritomo Miyata 1999/8/10生 日本/神奈川県	Kuo VANTELIN TOM'S SF19			
38	坪井 翔 Sho Tsuboi 1995/5/21生 日本/埼玉県	P.MU/CERUMO・INGING SF19	P.MU/CERUMO・INGING (ピーエムユーセルモインギング)	立川 祐路	TOYOTA/TRD TRD01F
39	阪口 晴南 Sena Sakaguchi 1999/7/9生 日本/大阪府	P.MU/CERUMO・INGING SF19			
50	イヴ・バルタス Yves Baltas 2002/2/15生 アメリカ	BYOUBUGAURA B-MAX SF19	B-Max Racing Team (ビーマックスレーシングチーム)	本山 哲	Honda/M-TEC HR-417E
51	松下 信治 Nobuharu Matsushita 1993/10/13生 日本/埼玉県	BYOUBUGAURA B-MAX SF19			

ホンダエンジン使用チーム:6チーム9台 トヨタエンジン使用チーム:6チーム11台 タイヤ:ヨコハマ ※エントリーは変更になる場合があります。

シリーズ賞典

スーパーフォーミュラは各レースでの入賞成績に応じてポイントが与えられ、年間の合計でシリーズチャンピオンを決定。ドライバーとチームの2部門に全日本スーパーフォーミュラ選手権のタイトルが懸けられ、チャンピオン獲得者には下記賞典が授与されます。

年間チャンピオンチーム

正賞	副賞	
経済産業大臣杯 (経済産業省)	賞金 (JRP)	日本の産業の基幹である自動車産業を広く内外に示し、フォーミュラカーレースを通して自動車振興に寄与したことを表し授与される。

年間チャンピオンチーム

正賞	副賞	
ドライバーズチャンピオンカップ	賞金 (JRP)	
観光庁長官杯 (観光庁)		自動車競技を通じ、体力の向上ならびに心身の健全育成に寄与し、国内の交流ならびに国際親善、観光振興への貢献を称え授与される。
自由民主党モータースポーツ振興議員連盟杯 (自由民主党)		日本の自動車産業育成およびモータースポーツの普及と育成への貢献を表して授与される。 ※自由民主党モータースポーツ振興議員連盟とは、日本国内の自動車産業ならびに自動車文化の向上、またモータースポーツを通じて社会貢献を行い、その他様々な活動を行うことを目指して設立された連盟。

ルーキー・オブ・ザ・イヤー

正賞	副賞	
トロフィー	賞金 (JRP)	当該年度初参戦となるルーキードライバーが3名以上存在する場合、その中で年間獲得ポイント最上位の選手に贈られる。(ルーキー：スーパーフォーミュラの決勝レース出走回数が積算で4戦未満のドライバー)

シリーズパートナー / シリーズサポーター / プロモーションパートナー

Series Partner

HONDA

本田技研工業株式会社

<http://www.honda.co.jp/>

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社

<http://www.toyota.co.jp/>

Series Supporter



横浜ゴム株式会社

<http://www.y-yokohama.com>

Promotion Partner



スリーボンド

<https://www.threebond.co.jp/>

Broadcasting Partner



株式会社BSフジ
<http://www.bsfuji.tv/>



株式会社ジェイ・スポーツ
<http://www.jsports.co.jp/>

Supporting Companies







人気酒造
人気酒造株式会社
<http://www.ninki.co.jp/>





Viron Japan株式会社
<http://www.brmjapan.com>



TV放映

	シリーズ全7戦の決勝の様様をレース当日の26時~27時55分に録画放送します。ルール解説やレースの総括、表彰式まで、決勝レースの全体像をわかりやすくお届けします。
	スーパーフォーミュラの総合情報番組「スーパーフォーミュラGO ON!」では、昨年までナレーションを担当してきた乃木坂46の樋口日奈が番組ナビゲーターとなり、直近レースの詳細解説や、次大会の見どころなど、スーパーフォーミュラの魅力をお伝えします。
	シリーズ全7戦の予選と決勝の様様をライブで中継。再放送やレースダイジェストも放送します。
	スーパーフォーミュラの予選・決勝を全世界に向けてLive配信いたします。

映像配信

	大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。
	スーパーフォーミュラ公式サイト及び公式facebookで配信。

インターネット/SNS

スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト https://superformula.net/sf2/	「スーパーフォーミュラ」で 
スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook https://www.facebook.com/superformula.official	「スーパーフォーミュラfacebook」で 
スーパーフォーミュラオフィシャルTwitter https://twitter.com/SUPER_FORMULA	「スーパーフォーミュラtwitter」で 
スーパーフォーミュラオフィシャルInstagram https://www.instagram.com/superformula_official	「スーパーフォーミュラInstagram」で 
スーパーフォーミュラ公式Live Timingアプリ i OS, Android対応無料ライブタイピングアプリ	「SUPERFORMULA」で 

ファンクラブ

オフィシャルファンクラブ 「CLUB F」	ファンクラブに入会いただくと、前売観戦券や年間パスの会員特別価格での購入やオリジナルグッズのプレゼントなどの会員特典があります。(※2021年シーズンはファンクラブの運用を中止しています。)
--	---

詳しくは公式サイト <http://superformula.net>をご覧ください。

2021 SUPER FORMULA 車両規定抜粋

以下はスーパーフォーミュラの基本的な車両規則です。
正確な内容は2021年JAF国内競技車両規則をご覧ください。

シャシー

JAF が認めたスーパーフォーミュラ車両製造者から供給された車両で、イタリアのダラーラ製 SF19 を今年度から使用している。

メーカー	ダラーラ・オートモービル (イタリア)
全長	5,233mm
全幅	1,910mm
全高	960mm
ホイールベース	3,115mm
最低重量	670kg (ドライバー込み)
車体	カーボンコンポジット製
ミッション	6速パドルシフト式 (リカルド製)
ブレーキ	カーボンディスクローター (ブレンボ製)



エンジン

エンジンは直噴直列4気筒ターボ、排気量2000cc以下で、現在はHondaとトヨタが開発したNRE (ニッポン・レース・エンジン) を使用する。燃料供給の流量は燃料流量リストラクターによって制限される。



Honda/M-TEC HR-417E



TOYOTA/TRD TRD01F

タイヤ

横浜ゴム製のワンメイク F:270/620R13 R:360/620R13 (スリックタイヤ)

オーバーテイクシステム

スーパーフォーミュラでは独自のシステムのひとつとして、決勝中にエンジンのパワーが増すオーバーテイクシステム (OTS) を採用している。これはオーバーテイクボタンを押すと燃料流量が増えて (10kg/h) パワーアップする。1レースで200秒まで使用できるが、1度使うと100秒間は使えない。ドライバーの後ろのマシン上部にオーバーテイクランプがついており、使用時間が残り20秒までは緑、20秒を切ると赤が点灯する。OTS作動中は高速で点滅し、100秒間の使用制限中はゆっくり点滅する。またマシン後部にあるランプも連動して光る。



2021 SUPER FORMULA 競技規則抜粋

以下はスーパーフォーミュラの基本的な競技規則です。

正確な内容は2021年全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則をご覧ください。

■車両／エンジン／タイヤの使用制限

車両

スペアカーは使用できない。

エンジン

各競技者が年間で使用できるエンジンは1基。

エンジンを交換した場合

車検開始前	予選結果から10グリッド降格
車検後～決勝日フリー走行終了後1時間まで	予選結果から10グリッド降格
決勝日フリー走行終了後1時間過ぎ～スタート手順開始まで	グリッド最後尾(当該車両の当初のグリッドは空けたまま)
上記3つの場合による2回以上のエンジン交換	決勝レースはピットスタート

タイヤ

1大会で1台につき使用できるドライタイヤは6セット(ニュータイヤ4、持ち越しタイヤ2)、ウエットタイヤは6セット。タイヤウォーマーは使用禁止。

■予選方法

予選は全戦ノックアウト方式で行われる。予選をQ1、Q2、Q3の3つのセッションに分け、Q1の上位14台の車両がQ2に進める。そしてQ2の上位8台がQ3に進み、上位8台の最終的な順位を決定する。予選通過基準はQ1で記録された1位のタイムの107%以内とする。

■スタート

スタートはスタンディングスタートで、グリッドは1×1のスタッガードフォーメーション。正式スタートの前に1周のフォーメーションラップを行う。フォーメーションラップに発進できなかった車両は最後尾かピットスタートとなる。ただし、発進が遅れた車両で最後尾の車両がスタートラインを通過する前までに動き出した場合は、フォーメーションラップ走行中に自ポジションまで戻ることができる。各車がグリッドに戻ったのちスタートシグナルのレッドライトが点灯し、その消灯がスタートとなる。



■ポイントシステム

各レースの成績に応じてドライバーとチームに得点が与えられ、今季は上位5戦の合計で最高得点者が全日本選手権保持者(チャンピオン)となる有効ポイント制を採用している(チームの得点は同一チームの車両のうち上位2台が対象)。同点の場合の順位は高得点を得た回数が多い順に決定。それでも同じ場合は、最終戦の前の大会の得点で決定する。それでも同じ場合は、さらにその前の大会の得点と遡って決める。得点の基準は以下のとおり。

- ・予選(ドライバーのみ) 1位:3点、2位:2点、3位:1点
- ・決勝 各レースの1位から10位までに下記のとおり。

決勝順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
ポイント	20	15	11	8	6	5	4	3	2	1

レースが途中で中止になった場合の扱い

先頭車両が2周終了前	得点は与えられない
先頭車両が2周以上～レース距離の75%未満	通常得点の半分
先頭車両がレース距離の75%以上	通常得点





2021 SUPER FORMULA 参加チーム&ドライバー



TCS NAKAJIMA RACING



日本人初のフルタイムドライバーとして、1987年から1991年までF1に参戦した中嶋悟氏。その中嶋氏が現役引退前に立ち上げたのが中嶋企画。現在はNAKAJIMA RACINGとしてSFに参戦している。過去には、トム・コロンネル、ラルフ・ファーマン、ロイック・デュバルといったチャンピオンを生み出した。今年は、昨年3度目のタイトルを獲得した山本尚貴が加入。山本は11年ぶりに同チームへの復帰した形だ。チームメイトは、昨年終盤に入って初優勝を果たした大湯都史樹。実力者2人を揃え、12年ぶりのタイトル獲得を目指す。

チーム名	TCS NAKAJIMA RACING ティーシーエス・ナカジマレーシング
会社名	有限会社中嶋企画
所在地	東京都渋谷区渋谷3-5-1 渋谷グランドハイツ1104号 TEL:03-3486-4258 FAX:03-3486-4259
広報担当	山田 美紀 yamada@nakajimaring.co.jp
Website	http://www.nakajimaring.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/nakajimaring

チーム監督	中嶋 悟
1号車エンジニア	加藤 祐樹
64号車エンジニア	岡田 淳

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル	
1996	高木虎之介/黒澤琢弥	PP(4回)	優勝(2回)	3位/35ポイント		
1997	高木虎之介/山西康司	PP(3回)	優勝	4位/20ポイント		
1998	山西康司/T.コロンネル	2位	4位	8位/10ポイント		
1999	T.コロンネル/光貞秀俊	PP(5回)	優勝(5回)	1位/81ポイント	☆	★
2000	高木虎之介/松田次生	PP(6回)	優勝(9回)	1位/113ポイント	☆	★
2001	松田次生/R.ファーマン	PP(2回)	優勝(2回)	4位/37ポイント		
2002	R.ファーマン/松田次生	PP(2回)	優勝(4回)	1位/81ポイント	☆	★
2003	小暮卓史/A.ロッテラー	PP	2位(3回)	3位/33ポイント		
2004	A.ロッテラー/小暮卓史	2位	優勝(3回)	2位/50ポイント		
2005	A.ロッテラー/小暮卓史	PP	優勝(2回)	3位/35ポイント		
2006	L.デュバル/武藤英紀	4位	優勝(2回)	3位/26ポイント		
2007	L.デュバル/小暮卓史	PP(4回)	優勝(3回)	2位/72ポイント		
2008	L.デュバル/小暮卓史	2位(2回)	優勝(2回)	2位/103ポイント		
2009	L.デュバル/小暮卓史	PP(5回)	優勝(6回)	1位/93ポイント	☆	★
2010	山本尚貴/小暮卓史	PP(2回)	優勝	3位/56.5ポイント		
2011	中嶋大祐/小暮卓史	2位	2位	5位/18.5ポイント		
2012	中嶋大祐/小暮卓史	5位	4位	7位/4ポイント		
2013	中嶋大祐/小暮卓史	2位(2回)	2位(2回)	5位/21ポイント		
2014	中嶋大祐/小暮卓史	10位	5位	9位/4ポイント		
2015	中嶋大祐/B.バケット	3位	5位	7位/7ポイント		
2016	中嶋大祐/B.バケット	4位(2回)	2位	5位/15ポイント		
2017	中嶋大祐/N.カーティケヤン	4位	7位	10位/2ポイント		
2018	N.カーティケヤン/伊沢拓也	4位(2回)	5位(2回)	8位/8ポイント		
2019	A.バロウ/牧野任祐	PP(4回)	優勝	3位/28ポイント		
2020	牧野任祐(Rd.7は大津弘樹)/大湯都史樹	2位	優勝	5位/57ポイント*		

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル *有効ポイント

1 山本 尚貴

Naoki Yamamoto

TCS NAKAJIMA RACING SF19
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1988年7月11日
- 出身地 栃木県
- 血液型 B型
- Website <http://www.naoki-yamamoto.com/>

Race Career

2002	全日本カート選手権FAクラス(7戦中5勝) チャンピオン
2003	ARTA (AUTOBACS RACING TEAM AGURI) 加入 全日本カート選手権東地域FAクラス第1・3戦に参戦 2戦共優勝
2004	FIK イタリアンオープンマスターズFAクラス シリーズ29位 CIK-FIA アジアパシフィック選手権ICAクラス 6位
2005	FIK イタリアンオープンマスターズFAクラス シリーズ5位 CIK-FIA 世界カート選手権FAクラス・ボルトガル大会12位
2006	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位
2008	全日本F3選手権 シリーズ5位
2009	全日本F3選手権Nクラス チャンピオン
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位 プロ・スポーツ大賞新人賞獲得
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ チャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 チャンピオン SUPER GT (GT500クラス) チャンピオン
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ2位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 チャンピオン SUPER GT (GT500クラス) チャンピオン

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2010	No.31 NAKAJIMA RACING	7 (20.5)	—
2011	No.16 TEAM 無限	11 (5)	—
2012	No.16 TEAM 無限	11 (4)	—
2013	No.16 TEAM 無限	1 (37)	1
2014	No.1 TEAM 無限	9 (14.5)	—
2015	No.16 TEAM 無限	5 (26)	1
2016	No.16 TEAM 無限	7 (15.5)	1
2017	No.16 TEAM MUGEN	9 (10.5)	—
2018	No.16 TEAM MUGEN	1 (38)	3
2019	No.1 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	2 (33)	1
2020	No.5 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1 (62)*	1

*は有効ポイント

64 大湯 都史樹

Toshiki Oyu

TCS NAKAJIMA RACING SF19
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1998年8月4日
- 出身地 北海道
- 血液型 B型
- Website <https://toshiki-oyu.com/wp/>

Race Career

2011	ROK international FINAL 世界選手権 junior rokクラス 日本人初3位 OPEN MASTERS ARTA CHALLENGE クラス シリーズ2位 鈴鹿選手権シリーズ junior RMC クラス シリーズチャンピオン
2012	OPEN MASTERS ARTA CHALLENGE クラス シリーズ2位 地方カート選手権 西地域 FS-125 クラス シリーズ3位
2013	全日本カート選手権 KF-2クラス シリーズ3位 PETRONAS CHALLENGE シリーズ8位
2014	全日本カート選手権 KFクラス シリーズ7位 PETRONAS CHALLENGE シリーズ3位 Super-FJ 日本一決定戦 2位
2015	Super-FJ 岡山チャレンジカップ シリーズチャンピオン 全日本カート選手権 KFクラス シリーズ8位 FIA F4 選手権 3位
2016	JAF F4 東地区 シリーズチャンピオン JAF F4 西地区 シリーズチャンピオン
2017	JAF F4 選手権 シリーズ4位
2018	全日本F3選手権 シリーズ6位
2019	全日本F3選手権 シリーズ4位
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ6位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ4位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2020	No.65 TCS NAKAJIMA RACING	6 (41)*	1

*は有効ポイント

KONDO RACING



歌手や俳優として1980年代のアイドルシーンを牽引した近藤真彦氏は、芸能活動と並行する形で1984年から自動車レースへの出場を開始した。その近藤氏が2000年に立ち上げたのがKONDO RACINGだ。近年は、若手を積極的に起用することでも知られており、一昨年のチャンピオンであるニック・キャッシュィもルーキーイヤーから2年間は同チームで戦った。今季は山下健太、サッシャ・フェネストラスが昨年に続いてステアリングを握るが、コロナ禍のため、フェネストラスの入国ができず、欠場した序盤戦は代役として中山雄一が出場した。

チーム名	KONDO RACING コンドー レーシング
会社名	株式会社エムケイカンパニー
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂2-23-1 アークヒルズフロントタワー-RoP1104 TEL:03-6459-1360 FAX:03-6459-1306
広報担当	葉山 秀樹 hayama@mk-company.jp
Website	http://www.matchy.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/KONDORacing

チーム監督	近藤 真彦
3号車エンジニア	阿部 和也
4号車エンジニア	村田 卓児

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2000	近藤真彦 / 土屋武士 (Rd.9)	14位	7位	— / 0ポイント	
2001	立川祐路 / 金石勝智	4位	2位	5位 / 34ポイント	
2002	荒 聖治 / 金石勝智	6位	7位	7位 / 3ポイント	
2003	立川祐路 / D.シュワガー	9位	3位	— / 0ポイント	
2004	道上 龍 / 立川祐路	3位	3位	6位 / 10ポイント	
2005	山本左近 / J.ヤニス (~Rd.3) / R.クインタレッリ (Rd.4~)	3位	2位	4位 / 21ポイント	
2006	山本左近 (Rd.3~) / 荒 聖治 (Rd.4~) / 柳田真孝	5位	4位	10位 / 4.5ポイント	
2007	柳田真孝 / J.P.デ・オリベイラ	3位	3位	7位 / 18ポイント	
2008	横溝直輝 / J.P.デ・オリベイラ	PP	優勝	5位 / 44ポイント	
2010	松田次生 (Rd.4~)	8位	8位	9位 / 1ポイント	
2011	A.カルダレッリ	10位	9位	— / 0ポイント	
2012	安田裕信	8位	9位	— / 0ポイント	
2013	安田裕信	13位	6位	9位 / 3.5ポイント	
2014	J.ロシター	3位	6位	5位 / 22ポイント	
2015	J.ロシター / W.ブラー	3位	2位	8位 / 5ポイント	
2016	J.ロシター / W.ブラー	4位	4位	8位 / 12ポイント	
2017	N.キャッシュィ / 山下健太	PP (2回)	3位	7位 / 12.5ポイント	
2018	N.キャッシュィ / 山下健太	PP	優勝	1位 / 47.5ポイント	☆
2019	山下健太 / 国本雄資	PP	優勝	6位 / 25ポイント	
2020	山下健太 (Rd.2は阪口晴南) / S.フェネストラス	2位	2位	6位 / 46ポイント*	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル *: 有効ポイント

3 山下 健太

Kenta Yamashita

ORIENTALBIO KONDO SF19
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1995年8月3日
- 出身地 千葉県
- 血液型 AB型
- Website <http://kentayamashita.jp>

Race Career

2007	モバロ 5StarCup(YAMAHA JUNIOR) シリーズチャンピオン
2008	Open Masters Kart (KRP JUNIOR) シリーズチャンピオン
2009	NTC CUPシリーズ(Jr.MAX) シリーズチャンピオン
2010	Open Masters Kart(ARTAチャレンジ) シリーズ2位
2011	全日本カート選手権(S-KF) シリーズ4位
2012	JAF地方選手権スーパーFJもてぎシリーズ チャンピオン
	CIK/FIA World Karting Championship KF1クラス出場 FINAL1-5位
	2013フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズチャンピオン
2014	JAF地方選手権F4東日本シリーズ シリーズチャンピオン
	全日本F3選手権 シリーズ2位
2015	全日本F3選手権 シリーズ2位
	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ20位
2016	インタープロトシリーズ シリーズ7位
	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
2017	F3マカオGP 4位
	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ11位
	SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦(Rd.2) シリーズ20位
2018	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ5位
	インタープロトシリーズ シリーズ2位
	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ8位
2019	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位
	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位
2019-20	SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
	FIA世界耐久選手権 LMP2クラス参戦
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位
	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ16位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2017	No.4 KONDO RACING	11 (6.5)	—
2018	No.4 KONDO RACING	8 (11.5)	—
2019	No.3 KONDO RACING	5 (21)	1
2020	No.3 KONDO RACING	7 (34)*	—

*は有効ポイント

4 サッシャ・フェネストラズ

Sacha Fenestraz

ORIENTALBIO KONDO SF19
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1999年7月28日
- 出身地 フランス
- 血液型 O型
- Website <https://www.sachafenestraz.com/>

Race Career

2015	フランスF4選手権 シリーズ2位
2016	ユーロカップ・フォーミュラノー 2.0 シリーズ5位
	フォーミュラノー 2.0 NEC シリーズ5位
2017	フォーミュラノー・ユーロカップ シリーズチャンピオン
	フォーミュラノー NEC シリーズ16位
	FIA F3ヨーロッパ選手権 シリーズ20位
2018	マカオGP 7位
	FIA F3ヨーロッパ選手権 シリーズ11位
2019	マカオGP 3位
	GP3シリーズ シリーズ24位
2020	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ6位
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ13位
	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2020	No.4 KONDO RACING	13 (19)*	—

*は有効ポイント

DOCOMO TEAM DANDELION RACING



出場チームの中で、唯一関西を拠点にしているチーム。かつてフナキレーシングでレースを学んだ村岡潔氏が1989年に"ダンディライアン・プロジェクト"として立ち上げた。その後、NTT DOCOMOとの関係を築き、全日本F3を皮切りに、プライベートーとしてJTCCに参戦。99年から国内トップフォーミュラに参戦を開始した。2004年にはリチャード・ライアン、昨年は山本尚貴を擁してドライバーズタイトルを獲得している。今季は福住仁嶺と牧野任祐をレギュラードライバーとして起用。だが、序盤戦は牧野が病気療養のため、笹原右京が代役出場した。

チーム名	DOCOMO TEAM DANDELION RACING ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング
会社名	有限会社ダンディライアン
所在地	〒662-0076 兵庫県西宮市松生町18-24-101 TEL:0798-70-0048 FAX:0798-70-0049
広報担当	濱田 哲彌 t_hamada@dandelion-racing.com
Website	http://www.dandelion-racing.com/

チーム監督	吉田 則光
5号車エンジニア	杉崎 公俊
6号車エンジニア	吉田 則光

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1999	R.デルフラー	17位(2回)	9位	—/0ポイント	
2000	道上 龍	2位	7位	—/0ポイント	
2001	野田英樹/J.ヴィエルチューク/光貞秀俊	3位	11位	—/0ポイント	
2002	J.コシェ/R.ライアン	6位	2位	6位/6ポイント	
2003	R.ライアン/服部尚貴	3位(2回)	優勝	6位/23ポイント	
2004	R.ライアン/服部尚貴	PP(6回)	優勝(2回)	3位/40ポイント	★
2005	R.ライアン/服部尚貴	PP(2回)	優勝	2位/37ポイント	
2006	B.ビルドハイム/平中克幸/井出有治	4位	2位	5位/13.5ポイント	
2007	B.ビルドハイム/F.カルボーン	6位	2位	6位/20ポイント	
2008	松浦孝亮/土屋武士	3位	優勝	11位/7.5ポイント	
2009	R.ライアン/伊沢拓也	2位(2回)	2位	6位/25ポイント	
2010	L.デュバル/伊沢拓也	PP(2回)	優勝(2回)	4位/40.5ポイント	
2011	伊沢拓也/塚越広大	PP	3位(2回)	3位/36.5ポイント	
2012	伊沢拓也/塚越広大	PP(3回)	優勝(3回)	1位/78.5ポイント	☆
2013	伊沢拓也/武藤英紀	PP	優勝	7位/14ポイント	
2014	野尻智紀/武藤英紀	2位(2回)	優勝	6位/14ポイント	
2015	野尻智紀/N.カーティケヤン	2位(3回)	3位(3回)	5位/25ポイント	
2016	野尻智紀/S.バンドーン	PP(2回)	優勝(2回)	4位/36.5ポイント	
2017	野尻智紀/伊沢拓也	PP	6位	8位/6ポイント	
2018	野尻智紀/松下信治	PP	3位	5位/18.5ポイント	
2019	山本尚貴/福住仁嶺	PP	優勝	1位/50ポイント	☆
2020	山本尚貴/福住仁嶺	PP	優勝	3位/72ポイント*	★

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

5 福住 仁嶺

Nirei Fukuzumi

DOCOMO DANDELION M5S SF19
HONDA/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1997年1月24日
- 出身地 徳島県
- 血液型 B型
- Website https://twitter.com/nirei_fukuzumi

Race Career

2010	鈴鹿選手権シリーズJ-RMC チャンピオン
2011	鈴鹿選手権シリーズJ-RMC チャンピオン、ARTA Jr シリーズチャンピオン
2012	鈴鹿選手権シリーズRMCシリーズ チャンピオン、ARTAチャレンジ シリーズチャンピオン
2013	全日本カート選手権 KF1クラス チャンピオン 鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)卒業
2014	フォーミュラ4 FCクラス チャンピオン
2015	全日本F3選手権 4位
2016	GP3 シリーズ7位
2017	GP3 シリーズ3位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 参戦 FIAフォーミュラ2選手権 シリーズ17位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT300クラス) チャンピオン
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ8位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ5位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2018	No.15 TEAM MUGEN	—(0)	—
2019	No.6 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7(18)	—
2020	No.6 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	8(29)*	—

*は有効ポイント

6 牧野 任祐

Tadasuke Makino

DOCOMO DANDELION M6Y SF19
HONDA/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1997年6月28日
- 出身地 大阪府
- 血液型 O型
- Website <http://team-tadasuke.com/>

Race Career

2011	全日本カート選手権 FS125クラス チャンピオン
2012	全日本カート選手権 KF-1クラス シリーズ4位
2013	全日本カート選手権 KF-1クラス シリーズ6位
2014	JAF地方選手権Super-J 岡山シリーズ チャンピオン Super-FJ ドリームカップレース 優勝 Super-FJ 日本一決定戦 優勝
2015	FIA F4選手権 シリーズ2位 JAF F4 東日本シリーズ チャンピオン JAF F4 西日本シリーズ チャンピオン JAF F4 日本シー 決定戦 優勝
2016	全日本F3選手権 Cクラス シリーズ 5位 SUPER GT (GT300クラス) スポット参戦
2017	FIA Formula3 European Championship 15位
2018	FIA Formula2 Championship 13位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ16位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ12位 SUPER GT (GT500クラス) チャンピオン

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2019	No.65 TCS NAKAJIMA RACING	16(6)	—
2020	No.64 TCS NAKAJIMA RACING	12(20)*	—

*は有効ポイント

KCMG



香港の実業家、ポール・イップ氏がオーナーを務めるKCMGは、ル・マン24時間レースやニュルブルクリンク24時間レースなど、世界的なレースに参戦を重ねてきた国際派チーム。日本のレースにも熱心に活動しており、スーパーフォーミュラはもちろん、TCR/Jなどにも参戦してきた。昨年からは2台体制に拡大。今年も小林可夢偉と国本雄資を起用する。序盤戦は、海外レースの参加と帰国後の自己隔離期間の問題から可夢偉は欠場。小高一斗が代役参戦した。昨年中盤からは次第に戦力が上がってきており、今シーズンは上位争いが期待される。

チーム名	KCMG ケーシーエムジー
会社名	株式会社ディーティエム
所在地	〒410-1116 静岡県裾野市千福72-1 TEL:055-992-7000 FAX:055-922-7001
広報担当	石塚 麻衣 ishizuka@dtm-racing.com
Website	http://www.kcmg.com.hk/
facebook	https://www.facebook.com/KCMGItD

チーム監督	松田 次生
7号車エンジニア	吉田 正幸
18号車エンジニア	山中 芳樹

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2010	平中克幸	8位	7位 (2回)	12位 / 4ポイント	
2011	A.インペラトーリ	12位	7位	9位 / 2.5ポイント	
2012	折目 遼	16位	15位	— / 0ポイント	
2013	R.ブラッドレー	18位	13位	— / 0ポイント	
2014	中山雄一	11位	10位	— / 0ポイント	
2015	中山雄一	4位	6位	11位 / 1.5ポイント	
2016	中山雄一	7位	9位	— / 0ポイント	
2017	小林可夢偉	3位	2位	6位 / 16.5ポイント	
2018	小林可夢偉 (Rd.5は中山雄一)	2位 (2回)	2位	9位 / 7ポイント	
2019	小林可夢偉	5位	2位 (2回)	8位 / 19ポイント	
2020	小林可夢偉 (Rd.2, 4は中山雄一) / 国本雄資	6位 (2回)	3位	8位 / 37ポイント*	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル *:有効ポイント

7 小林 可夢偉

Kamui Kobayashi

KCMG Elyse SF19
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1986年9月13日
- 出身地 兵庫県
- 血液型 AB型
- Website <http://www.kamui-kobayashi.com/>

Race Career

2001	フォーミュラトヨタ・レーシングスクール(FTRS)受講 スカラシップ生に選出
2002	フォーミュラトヨタ参戦
2003	フォーミュラトヨタ シリーズ2位
2004	フォーミュラノイタリア選手権 シリーズ7位(2勝)
2005	フォーミュラノイタリア選手権 シリーズチャンピオン(6勝) フォーミュラノユーロ選手権 シリーズチャンピオン(5勝)
2006	F3ユーロシリーズ 8位 F3マカオGP-予選レース優勝・ポールポジション獲得
2007	F3ユーロシリーズ 4位(1勝) GP2アジアシリーズ6位(2勝:日本人初優勝) GP2シリーズ16位(1勝:日本人初優勝)
2008	F1世界選手権(パナソニック・トヨタ・レーシング) サードドライバー F1世界選手権(パナソニック・トヨタ・レーシング) シリーズ18位
2009	GP2アジア シリーズチャンピオン(2勝) GP2 シリーズ16位(3位 表彰台1回)
2010	F1世界選手権(BMWザウバーF1チーム) シリーズ12位
2011	F1世界選手権(ザウバーF1チーム) シリーズ12位
2012	F1世界選手権(ザウバーF1チーム) シリーズ12位
2013	FIA世界耐久選手権(LMGTE) シリーズ7位
2014	F1世界選手権(ケータハムF1チーム) シリーズ22位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ6位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ17位
2016	FIA世界耐久選手権 シリーズ3位(優勝1回) 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位 FIA世界耐久選手権 シリーズ5位
2017	SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦(Rd.6) シリーズ17位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位
2018	FIA世界耐久選手権 LMP1クラス シリーズ2位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ6位 デイトナ24時間レース 総合優勝
2019-20	FIA世界耐久選手権 LMP1クラス シリーズチャンピオン
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ16位 デイトナ24時間レース 総合優勝

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2015	No.8 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	6(20)	—
2016	No.8 SUNOCO Team LeMans	17(1)	—
2017	No.18 KCMG	7(16.5)	—
2018	No.18 carrozzeria Team KCMG	11(7)	—
2019	No.18 carrozzeria Team KCMG	6(19)	—
2020	No.7 carrozzeria Team KCMG	16(8)*	—

*は有効ポイント

18 国本 雄資

Yuji Kunimoto

KCMG Elyse SF19
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1990年9月12日
- 出身地 神奈川県
- 血液型 B型
- Website <http://mobile.twitter.com.yujikunimoto>

Race Career

2004	全日本カート選手権 ICAクラス シリーズ7位
2005	全日本カート選手権 ICAクラス東地域チャンピオン 全日本カート選手権 ICAクラス シリーズ3位
2006	全日本カート選手権 FAクラス シリーズ8位
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ4位 フォーミュラトヨタ スポット参戦
2008	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズチャンピオン マカオグランプリフォーミュラBMWクラス5位
2009	全日本F3選手権Cクラス シリーズ3位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ8位
2010	全日本F3選手権Cクラス シリーズチャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ4位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ10位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ7位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ13位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズチャンピオン
2016	日本プロスポーツ大賞功労賞獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位 FIA世界耐久選手権 スポット参戦(Rd.2, 3) シリーズ29位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ17位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ17位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.33 Project μ/cerumo・INGING	10(6.5)	—
2012	No.39 Project μ/cerumo・INGING	13(2)	—
2013	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	10(10)	—
2014	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	7(19.5)	—
2015	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	9(7.5)	—
2016	No.2 P.MU/CERUMO・INGING	1(33)	2
2017	No.1 P.MU/CERUMO・INGING	8(16)	—
2018	No.2 JMS P.MU/CERUMO・INGING	9(11.5)	—
2019	No.4 KONDO RACING	17(5)	—
2020	No.18 carrozzeria Team KCMG	9(29)*	—

*は有効ポイント

ThreeBond DragoCORSE



自らも現役ドライバーである道上龍氏が2014年に立ち上げたチーム。過去、2014年終盤から16年にかけて、スーパーフォーミュラ（SF）に参戦していたが、2017年からの3年間はスリーボンドのバックアップを受ける形で全日本F3に参戦した。昨年からはスリーボンドとともにチームとしてステップアップ。再びSFへの参戦を1台体制で開始した。そのステアリングを握るのは、コロンビア出身の女性ドライバー、タチアナ・カルデロンだ。カルデロンは走るたびに速さを増し、今季開幕戦では予選Q1を初突破。次のステップは決勝レースでのポイント獲得となる。

チーム名	ThreeBond DragoCORSE スリーボンドドラゴコルセ
会社名	有限会社ドラゴ
所在地	〒632-0005 奈良県天理市楯町128-2
広報担当	浦尾 哲 s-urao@threebond.co.jp
Website	https://www.threebond.co.jp/ja/companyinformation/sportssponsor/motorsports/superformula/
facebook	https://www.facebook.com/ThreeBond_Sports-395219060500772/

チーム監督	道上 龍
12号車エンジニア	伊与木 仁

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2020	T.カルデロン (Rd.2, 3は塚越広大)	14位	12位 (3回)	—/0ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

12 タチアナ・カルデロン

Tatiana Calderón

ThreeBond DragoCORSE SF19
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1993年3月10日
- 出身地 コロンビア
- 血液型 O型
- Website <https://www.tatianacalderon.com/>

Race Career	
2013	FIA F3ヨーロッパ選手権 シリーズ32位 イギリスF3選手権 シリーズ9位
2014	FIA F3ヨーロッパ選手権 シリーズ15位
2015	FIA F3ヨーロッパ選手権 シリーズ27位
2015-16	MRFチャレンジ・フォーミュラ 2000 シリーズ2位 GP3 シリーズ21位
2016	ユーロフォーミュラ・オープン・チャンピオンシップ シリーズ9位 スペイン・フォーミュラ3 6位 F1世界選手権 ザウバー-F1チーム 開発ドライバー GP3 シリーズ18位
2017	フォーミュラノー 3.5 14位
2018	F1世界選手権 アルファロメオ・ザウバー-F1チーム テストドライバー GP3 シリーズ16位
2019	F1世界選手権 アルファロメオ・レーシング テストドライバー FIA F2選手権 シリーズ22位
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 参戦 ヨーロッパアン・ルマン シリーズ 参戦

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series			
Year	Team	Rank (Pts)	Win
2020	No.12 ThreeBond Drago CORSE	-(0)	-

NTT Communications ROOKIE



昨年からスーパーフォーミュラに参戦を開始した新規チーム。チームオーナーはトヨタ自動車社長の豊田章男氏だ。ルーキーとは豊田社長の愛犬の名前とのこと。昨年はメンテナンスを他社に委託する形だったが、今季は自社メンテナンス体制を確立し、エンジニアリング面も変更。メインスポンサーとしてNTT Communicationのバックアップを受けることにもなった。レギュラードライバーを務めるのは、ベテランの大嶋和也。昨年は7戦中3回の入賞を果たしているが、上位フィニッシュはならず。今季はさらなる成績アップを目指している。

チーム名	NTT Communications ROOKIE
会社名	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ・ルーキー
所在地	〒745-0868 山口県周南市南浦山町2-2 TEL:0834-22-5248 FAX:0834-22-5212
広報担当	村上 翼 t-murakami@cerumo.co.jp
Website	
facebook	

チーム監督	片岡 龍也
14号車エンジニア	松田 久

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2020	大嶋和也	9位	9位(2回)	10位/5ポイント*	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル *:有効ポイント

14 大嶋 和也

Kazuya Oshima

NTT Communications ROOKIE SF19
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1987年4月30日
- 出身地 群馬県
- 血液型 A型
- Twitter https://twitter.com/oshima_kazuya

Race Career

2001	全日本カート選手権FAクラスチャンピオン
2004	フォーミュラトヨタシリーズ2位
2005	フォーミュラトヨタ チャンピオン
2006	全日本F3選手権 シリーズ2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ15位
2007	全日本F3選手権 チャンピオン
2008	ユーロF3シリーズ参戦
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝 パンセン4時間耐久レース 総合優勝
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位 ニルブルクリンク24時間レース クラス2位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2014	ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝 ニル耐久レースシリーズ クラス優勝 全日本選手権スーパーフォーミュラ スポット参戦 (Rd.2)
2015	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2016	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ12位
2017	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位 インタープロトシリーズ シリーズ13位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ14位 SUPER GT (GT500クラス) チャンピオン
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ19位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2009	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	9(13)	—
2010	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	6(24)	1
2011	No.7 Team LeMans	5(19)	—
2012	No.7 Team LeMans	7(21.5)	—
2017	No.8 SUNOCO TEAM LEMANS	12(6)	—
2018	No.8 UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	12(6)	—
2019	No.8 UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	14(7)	—
2020	No.14 ROOKIE Racing	19(5)*	—

*は有効ポイント

Red Bull MUGEN Team Goh



2017年からスーパーフォーミュラに登場したレッドブルカラーのマシン。過去には、ピエール・ガスリーやダニエル・ティクトウム、パトリシオ・オワード、ユーリ・ビップスら、レッドブル・ジュニアドライバーたちがステアリングを握ってきた。今季は、そのレッドブルのマシンがチーム・ゴウとコラボレーション。外国人ドライバーの来日が難しいこともあり、初めて開幕戦から正式に日本人ドライバーを起用している。そのドライバーが、大津弘樹。これまで回り道をしてきた苦労人がチャンスを掴んだ。その期待に応え、開幕戦ではQ3に進出している。

チーム名	Red Bull MUGEN Team Goh レッドブル・ムゲン・チーム・ゴウ
会社名	
所在地	
広報担当	野田和宏 kazuhiko_noda@mugen-power.com
Website	https://teamgoh.com/
facebook	

チーム監督	田中 洋克
15号車エンジニア	ライアン・ディングル

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
------	-------	-------	-------	-------	------

15 大津 弘樹

Hiroki Otsu

TEAM MUGEN SF19
HONDA/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1994年5月25日
- 出身地 埼玉県
- 血液型 A型
- Website <https://www.hiroki-otsu.jp/>

Race Career

2008	全日本カート選手権 KF2クラス シリーズチャンピオン
2014	JAF F4 FCクラス 東日本シリーズ3位、西日本シリーズ5位
2015	JAF F4 シリーズ3位
2016	全日本F3選手権 シリーズ9位
2017	全日本F3選手権 シリーズ5位
2018	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ14位
	SUPER耐久 ST-TCRクラス シリーズチャンピオン
2019	全日本F3選手権 シリーズ6位
	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ17位
	SUPER耐久 ST-TCRクラス シリーズ2位
2020	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位
	全日本スーパーフォーミュラ選手権 スポット出場 (Rd.7)

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2020	No.64 TCS NAKAJIMA RACING	-(0)	-

TEAM MUGEN



長年レース用エンジンの開発や市販車のチューニングやパーツ製造販売、さらにレース活動を行っていた無限を2003年にM-TECが引き継いだ。ツーリングカーやGTカーなどのカテゴリーで精力的に活動していたが、2010年にスーパーフォーミュラ（当時はフォーミュラ・ニッポン）に自社チームで参戦を開始した。2013年には山本尚貴とともに初のドライバーズタイトルを獲得。2019年からは野尻智紀がエースを務め、昨年は最終戦までタイトル争いに絡む活躍を見せた。今シーズンは開幕戦から速さ・強さを見せて、2連勝を飾っている。

チーム名	TEAM MUGEN チーム・ムゲン
会社名	株式会社M-TEC
所在地	〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11 TEL:048-462-3151 FAX:048-462-3155
広報担当	野田 和宏 kazuhiko_noda@mugen-power.com
Website	http://www.mugen-power.com/
facebook	https://www.facebook.com/mugen1973/

チーム監督	田中 洋克
16号車エンジニア	一瀬 俊浩

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2010	井出有治	8位	8位(2回)	10位/1ポイント	
2011	山本尚貴	PP	5位	7位/4ポイント	
2012	山本尚貴/佐藤琢磨(Rd.6,7)	4位	7位	8位/4ポイント	
2013	山本尚貴/佐藤琢磨(Rd.1,6,7)/小林崇志(Rd.2-4)	PP(2回)	優勝	4位/32.5ポイント	★
2014	山本尚貴/中山友貴	PP(2回)	5位	7位/12.5ポイント	
2015	山本尚貴	PP(2回)	優勝	6位/21ポイント	
2016	山本尚貴	PP	優勝	6位/14.5ポイント	
2017	P.ガスリー/山本尚貴	3位(2回)	優勝(2回)	2位/43.5ポイント	
2018	福住仁嶺(Rd.2は飯口晴南、Rd.3-4はD.ティクトゥム)/山本尚貴	PP(2回)	優勝(3回)	3位/33ポイント	★
2019	D.ティクトゥム(Rd.1-3)・P.オワード(Rd.4-6)・J.ビップス(Rd.7)/野尻智紀	2位(2回)	優勝	5位/25ポイント	
2020	笹原右京/野尻智紀	PP(2回)	優勝	7位/42ポイント*	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル *:有効ポイント

16 野尻 智紀

Tomoki Nojiri

TEAM MUGEN SF19
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1989年9月15日
- 出身地 茨城県
- 血液型 B型
- Twitter https://twitter.com/tomoki_nojiri

Race Career

2008	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)首席卒業
2009	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位 F4西日本シリーズ5位
2010	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位
2011	全日本F3選手権 Nクラス シリーズ2位
2012	全日本F3選手権 シリーズ5位
2013	全日本F3選手権 シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ10位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ10位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ15位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ17位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2014	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	10 (10)	1
2015	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7 (19)	—
2016	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	9 (14.5)	—
2017	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	17 (2)	—
2018	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7 (12.5)	—
2019	No.16 TEAM MUGEN	4 (24)	1
2020	No.16 TEAM MUGEN	5 (47)*	1

*は有効ポイント

carenex TEAM IMPUL



1970年代後半から「日本一速い男」の異名を取り、レース界の大スターとなった星野一義氏。その星野氏が現役時代に立ち上げたのがホシノレーシング。現在は並行して経営する自動車用品会社の名を取り、「チーム・インパル」として参戦している。過去には、本山哲やフノ・トトレイエ、松田次生を擁して例年タイトルを争い、最強チームとして君臨していた。今年ステアリングを握るのは、2016年に同チームに加入した関口雄飛と2018年に加入した平川亮。今季はマシンカラーリングを一新し、久々のタイトル獲得に燃えている。

チーム名	carenex TEAM IMPUL カーエネクス チーム インパル
会社名	有限会社ホシノレーシング
所在地	〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-32-3 TEL:03-3439-1122(代) FAX:03-3439-5522
広報担当	高橋 紳一郎 takahashi@teamimpul.com
Website	http://www.impul.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/IMPUL.official

チーム監督	星野 一義
19号車エンジニア	柏木 良仁
20号車エンジニア	大駅 俊臣

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	鈴木利男/星野一義	PP(2回)	優勝	2位/38ポイント	
1997	黒澤琢弥/影山正彦	PP	優勝	2位/44ポイント	
1998	黒澤琢弥/影山正彦	PP	優勝(2回)	4位/27ポイント	
1999	影山正美/野田英樹	2位	優勝	3位/24ポイント	
2000	本山 哲	PP	優勝	3位/34ポイント	
2001	本山 哲/N.カーティケヤン	PP(3回)	優勝(4回)	2位/51ポイント	★
2002	本山 哲/M.クルム	PP	優勝(5回)	2位/60ポイント	
2003	本山 哲/B.トレレイエ	PP(5回)	優勝(6回)	1位/91ポイント	☆ ★
2004	B.トレレイエ/井出有治	PP(2回)	優勝(3回)	1位/62ポイント	☆
2005	B.トレレイエ/井出有治/本山 哲	PP(5回)	優勝(6回)	1位/101ポイント	☆ ★
2006	B.トレレイエ/松田次生	PP(4回)	優勝(5回)	1位/88ポイント	☆ ★
	本山 哲/星野一樹	2位(4回)	3位(4回)	4位/16ポイント	
2007	B.トレレイエ/松田次生	PP(4回)	優勝	1位/91ポイント	☆ ★
	本山 哲/M.クルム	PP	優勝(3回)	3位/50ポイント	
2008	松田次生/B.トレレイエ	PP(5回)	優勝(4回)	1位/114.5ポイント	☆ ★
	平手晃平(Rd.7はR.ライアン)	4位(2回)	優勝	6位/42ポイント	
2009	松田次生/B.トレレイエ	PP	優勝	3位/50ポイント	
	平手晃平	PP	3位	4位/31ポイント	
2010	J.P.デ・オリベイラ/平手晃平	PP(2回)	優勝(3回)	1位/68ポイント	☆ ★
2011	J.P.デ・オリベイラ/平手晃平	PP(2回)	優勝	2位/41ポイント	
2012	J.P.デ・オリベイラ/松田次生	PP(3回)	優勝	3位/51.5ポイント	
2013	J.P.デ・オリベイラ/松田次生	2位(2回)	2位	3位/37.5ポイント	
2014	J.P.デ・オリベイラ/N.カーティケヤン	PP(2回)	優勝(3回)	4位/39.5ポイント	
2015	J.P.デ・オリベイラ/A.カルダレッリ	PP	優勝	3位/37ポイント	
2016	J.P.デ・オリベイラ/関口雄飛	PP(2回)	優勝(2回)	3位/42ポイント	
2017	関口雄飛/J.マーデンポロー	PP(2回)	優勝(2回)	5位/27.5ポイント	
2018	関口雄飛/平川 亮	PP(2回)	優勝	4位/33ポイント	
2019	関口雄飛/平川 亮	PP	優勝(2回)	4位/27ポイント	
2020	関口雄飛/平川 亮	PP(2回)	優勝	4位/69ポイント*	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル *:有効ポイント

19 関口 雄飛

Yuhi Sekiguchi

carenex TEAM IMPUL SF19
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1987年12月29日
- 出身地 東京都
- 血液型 AB型
- Website <http://yuhi-muteki.net/>

Race Career

2002	全日本カート選手権・ICAクラス シリーズチャンピオン
2004	フォーミュラ・トヨタ シリーズ3位
2005	フォーミュラ・トヨタ シリーズ5位
2006	フォーミュラ・トヨタ シリーズチャンピオン FCJ シリーズチャンピオン
2007	全日本F3選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ10位
2008	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ37位
2009	全日本F3選手権(Nクラス) シリーズ5位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ22位
2010	全日本F3選手権(Cクラス) シリーズ2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ9位
2011	全日本F3選手権(Cクラス) シリーズチャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ13位
2012	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ6位
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位 インタープロトシリーズ シリーズ2位
2014	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位
2015	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ3位 日本プロスポーツ大賞新人賞受賞 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位 インタープロトシリーズ シリーズチャンピオン
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ14位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2016	No.20 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	3 (28.5)	2
2017	No.19 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	4 (25)	2
2018	No.19 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	4 (18)	1
2019	No.19 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	8 (16)	1
2020	No.19 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	14 (17)*	—

*は有効ポイント

20 平川 亮

Ryo Hirakawa

carenex TEAM IMPUL SF19
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1994年3月7日
- 出身地 広島県
- 血液型 O型
- Twitter <https://twitter.com/ryohirakawa>

Race Career

2008	全日本ジュニアカート選手権 ジュニアクラス シリーズチャンピオン 全日本カート選手権 KF2クラスシリーズ フォーミュラトヨタ・レーシングスクール(FTRS)受講 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ6位
2009	スーパーFJ 日本一決定戦優勝 JAF地方選手権スーパーFJ岡山シリーズチャンピオン フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位 F4 西日本シリーズチャンピオン
2012	全日本F3選手権Cクラス シリーズチャンピオン フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位 ボルシェカレラカップジャパン シリーズチャンピオン
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ11位 インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラスチャンピオン
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦(Rd.2, 3) シリーズ20位 スーパー耐久(ST-1クラス) シリーズチャンピオン インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラスチャンピオン
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位 インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラスチャンピオン
2016	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位 ヨーロピアン・ルマンシリーズ(LMP2) シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
2017	ヨーロピアン・ルマンシリーズ(LMP2) シリーズ4位 インタープロトシリーズ シリーズ8位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ2位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2013	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	11 (9)	—
2014	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	8 (16.5)	—
2015	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	8 (13)	—
2018	No.20 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	5 (17)	—
2019	No.20 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	10 (12)	1
2020	No.20 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	2 (60)*	1

*は有効ポイント

Kuo VANTELIN TEAM TOM'S



元トヨタのワークスドライバーである舘信秀氏が、1974年、ディーラーのスポーツコーナー担当者だった大岩湛英氏とともに立ち上げたのがトムス。過去、耐久レースやF3では積極的に海外レースにも参戦し、F3マカオGPでは5勝している。そのトムスが本格的に国内トップフォーミュラに参戦を開始したのは2006年。その後、数々のドライバーズ&チームタイトルを手に入れている。多くの外国人ドライバーを擁して戦ってきたが、今季ステアリングを握るのはシリーズ最年長となった中嶋一貴と初のフル参戦となる宮田莉朋。新たなコンビでトップを目指す。

チーム名	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S クオ バンテリン チーム トムス
会社名	株式会社トムス
所在地	〒412-0017 静岡県御殿場市塚原149-6 テクニカルセンター(第1工場) TEL:0550-89-8347 FAX:0550-89-8349
広報担当	渡辺 一郎 i.watanabe@tomsracing.jp
Website	https://www.tomsracing.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/TOMSRacing.co.jp

チーム監督	舘 信秀
36号車エンジニア	大立 健太
37号車エンジニア	小枝 正樹

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル	
2006	A.ロッター／土屋武士	5位(2回)	優勝(2回)	2位／32ポイント		
2007	A.ロッター／荒 聖治	4位(2回)	優勝	4位／48ポイント		
2008	A.ロッター／荒 聖治	3位	優勝	3位／58ポイント		
2009	A.ロッター／大嶋和也	2位	優勝	2位／52ポイント		
2010	A.ロッター／大嶋和也	PP	優勝(2回)	2位／67ポイント		
2011	A.ロッター(Rd.2は井口卓人)／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(6回)	1位／96ポイント	☆	★
2012	A.ロッター／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(4回)	2位／76.5ポイント		★
2013	中嶋一貴／A.ロッター(Rd.1,7はJ.ロスター)	PP(2回)	優勝(4回)	1位／58.5ポイント	☆	
2014	A.ロッター(Rd.4はA.カルダレリ)／中嶋一貴	PP(4回)	優勝(4回)	1位／79.5ポイント	☆	★
2015	中嶋一貴(Rd.2は大嶋和也)／A.ロッター	PP(2回)	優勝(4回)	1位／80.5ポイント	☆	
2016	A.ロッター／中嶋一貴	PP	2位(5回)	2位／51ポイント		
2017	A.ロッター／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(2回)	3位／41ポイント		
2018	中嶋一貴(Rd.5はJ-P.デ・オリベイラ)／J.ロスター	3位	3位	6位／15ポイント		
2019	中嶋一貴／N.キャンディ	3位	優勝	2位／48ポイント		★
2020	N.キャンディ／中嶋一貴(Rd.2, 4は宮田莉朋)	PP	優勝	1位／77ポイント*	☆	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル *:有効ポイント

36 中嶋 一貴

Kazuki Nakajima

Kuo VANTELIN TOM'S SF19
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1985年1月11日
- 出身地 愛知県
- 血液型 A型
- Website <http://www.kazuki-nakajima.com/>

Race Career

2003	フォーミュラトヨタ チャンピオン(3勝)
2004	全日本F3選手権 シリーズ5位(2勝) 全日本F3選手権 シリーズ2位
2005	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ8位
2006	ユーロF3シリーズ 7位(1勝) GP2シリーズ(フランスDAMS) シリーズ5位
2007	AT&Tウィリアムズテストドライバー / F1世界選手権最終戦ブラジルGP出場
2008	F1世界選手権(AT&Tウィリアムズ) シリーズ15位
2009	F1世界選手権(AT&Tウィリアムズ) シリーズ20位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ2位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン チャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ13位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位 FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ12位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ チャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位 FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ8位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ2位 FIA世界耐久選手権 シリーズ7位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ6位 FIA世界耐久選手権 シリーズ8位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位 FIA世界耐久選手権 シリーズ2位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ6位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位 FIA世界耐久選手権 LMP1クラス チャンピオン
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 ル・マン24時間レース 優勝
2019-20	FIA世界耐久選手権 LMP1クラス シリーズ2位
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ11位 ル・マン24時間レース 優勝

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	2(42)	1
2012	No.2 PETRONAS TEAM TOM'S	1(46)	2
2013	No.1 PETRONAS TEAM TOM'S	4(24)	2
2014	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	1(46)	2
2015	No.1 PETRONAS TEAM TOM'S	2(45.5)	1
2016	No.37 VANTELIN TEAM TOM'S	6(22)	—
2017	No.37 VANTELIN TEAM TOM'S	5(22)	1
2018	No.36 VANTELIN TEAM TOM'S	6(15)	—
2019	No.36 VANTELIN TEAM TOM'S	11(12)	—
2020	No.36 VANTELIN TEAM TOM'S	11(25)*	—

*は有効ポイント

37 宮田 莉朋

Ritomo Miyata

Kuo VANTELIN TOM'S SF19
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1998年8月10日
- 出身地 神奈川県
- 血液型 O型
- Website https://twitter.com/M_Ritmo

Race Career

2013	全日本カート選手権 KFクラス シリーズ2位
2014	全日本カート選手権 KFクラス シリーズチャンピオン FIA-F4選手権 シリーズ15位
2015	全日本カート選手権 KFクラス シリーズ3位 FIA-F4選手権 シリーズチャンピオン
2016	全日本カート選手権 KFクラス シリーズチャンピオン 全日本F3選手権 シリーズ4位
2017	FIA-F4選手権 シリーズチャンピオン F3マカオGP 12位 全日本F3選手権 シリーズ2位
2018	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ12位 F3マカオGP 13位
2019	全日本F3選手権 シリーズ2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ17位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ17位
2020	全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権 シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ17位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2020	No.36 VANTELIN TEAM TOM'S	17(7)*	—

*は有効ポイント

P.MU/CERUMO・INGING



かつての名レーサー故・酒井正氏が立ち上げた酒井レーシングがルーツ。担当メカニックだった佐藤正幸氏が引き継ぎ、メンテナンスガレージとしてスタートしたのがセルモだ。1991年から全日本F3000に自チームとして参戦。エディ・アーバインやトム・クリステンセンを育てた。2007年末にはインギングのト部治久氏が新オーナーとなり、両チームが統合。2019年には佐藤氏が勇退し、その後は現役ドライバーでもある立川祐路監督を擁している。今年は坪井翔&阪口晴南という若手コンビで参戦。石浦宏明、国本雄資に続くチャンピオンを生み出せるか。

チーム名	P.MU/CERUMO・INGING ピーエムユーセルモインギング
会社名	株式会社インギング
所在地	〒745-0868 山口県周南市南浦山町2-2 TEL:0834-22-5248 FAX:0834-22-5212
広報担当	村田 淳一 murata@cerumo.co.jp
Website	http://www.inging.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/ingingmotorsport

チーム監督	立川 祐路
38号車エンジニア	菅沼 芳成
39号車エンジニア	田中 耕太郎

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	羽根幸浩	14位	12位	—/0ポイント	
1997	光貞秀俊/S.カヴァナ/柴原真介/M.クルム	3位(2回)	3位(3回)	5位/20ポイント	
1998	野田英樹/飯田 章	PP	3位	7位/11ポイント	
1999	立川祐路/飯田 章	4位	4位	10位/6ポイント	
2000	立川祐路/J.ヴィエルチューク	3位(3回)	4位(3回)	7位/9ポイント	
2001	影山正美/荒 聖治	7位(2回)	3位	7位/16ポイント	
2002	B.トレルイエ/立川祐路	8位(2回)	6位	9位/1ポイント	
2003	松田次生/井出有治	3位	2位	5位/26ポイント	
2004	松田次生/影山正美	5位	4位(2回)	7位/7ポイント	
2005	平中克幸/高木虎之介	2位	6位(2回)	7位/2ポイント	
2006	立川祐路(CERUMO)	5位	4位(2回)	8位/10ポイント	
	R.クインタレリ/横溝直輝(INGING)	2位	4位	9位/6ポイント	
2007	立川祐路(CERUMO)	4位	5位	9位/7ポイント	
	立川祐路/佐々木孝太(RECKLESS CERUMO)	7位	6位	11位/4ポイント	
2008	R.クインタレリ/横溝直輝(INGING)	2位	優勝	5位/27ポイント	
	R.クインタレリ/立川祐路	5位	3位	4位/52.5ポイント	
2009	立川祐路	8位	5位	10位/1ポイント	
2010	井口卓人	13位	6位	8位/3ポイント	
2011	国本雄資	8位	4位	6位/6.5ポイント	
2012	平手晃平/国本雄資	4位	5位	6位/10ポイント	
2013	平手晃平/国本雄資	2位	2位	5位/21ポイント	
2014	石浦宏明/国本雄資	2位	2位(2回)	3位/45.5ポイント	
2015	石浦宏明/国本雄資	PP(3回)	優勝(2回)	2位/56ポイント	★
2016	石浦宏明/国本雄資	PP(3回)	優勝(3回)	1位/54ポイント	☆ ★
2017	国本雄資/石浦宏明	PP(2回)	優勝	1位/47.5ポイント	☆ ★
2018	石浦宏明/国本雄資	PP	優勝	2位/35.5ポイント	
2019	石浦宏明/坪井 翔	2位(2回)	2位	7位/22ポイント	
2020	石浦宏明/坪井 翔	2位	優勝(2回)	2位/72ポイント*	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル *:有効ポイント

38 坪井 翔

Sho Tsuboi

P.MU/CERUMO・INGING SF19
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1995年5月21日
- 出身地 埼玉県
- 血液型 A型
- Website <http://xyz-one.jp/tsuboi/>

Race Career

2012	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ7位
2013	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位
2014	F4 JAF地方選手権 FCクラス 西日本シリーズ2位
2015	FIA F4選手権 チャンピオン インタープロトシリーズ 9位
2016	全日本F3選手権 シリーズ3位 インタープロトシリーズ 2位 全日本F3選手権 シリーズ2位
2017	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ3位 スーパー耐久シリーズ ST4クラス チャンピオン インタープロトシリーズ 3位
2018	全日本F3選手権 チャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ7位 スーパー耐久シリーズ ST4クラス チャンピオン インタープロトシリーズ 5位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ3位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2019	No.39 JMS P.MU/CERUMO・INGING	12 (12)	—
2020	No.39 JMS P.MU/CERUMO・INGING	3 (50)*	2

*は有効ポイント

39 阪口 晴南

Sena Sakaguchi

P.MU/CERUMO・INGING SF19
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1999年7月9日
- 出身地 大阪府
- 血液型 B型
- Website <https://twitter.com/sakaguchi0709>

Race Career

2013	全日本カート選手権 KF2クラス チャンピオン 鈴鹿カート選手権 J-RMCクラス チャンピオン
2014	全日本カート選手権 KF2クラス シリーズ3位
2015	全日本カート選手権 KFクラス チャンピオン FIA F4選手権 参戦
2016	全日本F3選手権 シリーズ9位 FIA F4選手権 シリーズ2位
2017	全日本F3選手権 シリーズ6位
2018	全日本F3選手権 シリーズ4位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 スポット出場 (Rd.2)
2019	全日本F3選手権 参戦 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ2位 全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権 シリーズ2位
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権 スポット出場 (Rd.2) SUPER GT (GT300クラス) シリーズ16位 SUPER GT (GT500クラス) スポット出場 (Rd.2) シリーズ18位 FORMULA REGIONAL JAPANESE CHAMPIONSHIP チャンピオン

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2018	No.15 TEAM MUGEN	— (0)	—
2020	No.3 KONDO RACING	— (0)	—

*は有効ポイント

B-Max Racing Team



自動車部品メーカーの屏風浦工業のレース事業部として、2009年に立ち上げられたのがB-Max Engineering。2010年からはレース活動を開始し、2014年にはB-Max Racing Teamに名称変更。2017年にスーパーフォーミュラへの参戦を開始した。同時に屏風浦工業からの分社化も行なっている。オーナーであり、両社の代表取締役社長でもある組田龍司氏は、自らもレース活動している。今季はなかなか体制が確定しなかったが、4月12日に松下信治の起用を発表。米国のイブ・バルタスと2台体制を組むが、バルタスの入国が叶うまでは松下1台で戦うことになる。

チーム名	B-Max Racing Team ビーマックス レーシングチーム
会社名	B-MAX RACING 株式会社
所在地	〒252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中8-8-2 TEL:0467-39-5960 FAX:0467-39-5940
広報担当	宮脇 透 t-miyawaki@b-maxracing.co.jp
Website	http://www.b-maxracingteam.com

チーム監督	本山 哲
50号車エンジニア	
51号車エンジニア	田坂 泰啓

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2017	小暮卓史	7位	12位	—/0ポイント	
2018	千代勝正	13位	10位	—/0ポイント	
2019	L.アウアー/H.ニューウェイ	3位(2回)	3位(2回)	8位/20ポイント	
2020	S.セッテ・カマラ(Rd.1は名取鉄平、Rd.2は高星明誠、Rd.4-7は松下信治)/C.ミレッシ	PP	3位	9位/16ポイント*	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル *:有効ポイント

50 イヴ・バルタス

Yves Baltas

BYOUBUGAURA B-MAX SF19
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 2002年2月15日
- 出身地 アメリカ
- 血液型
- Website <https://www.yvesbaltas.com/>

Race Career

2017	FIA F4イギリス選手権 シリーズ19位
2018	ユーロフォーミュラ・オープン シリーズ16位
2019	フォーミュラノー・ユーロカップ シリーズ19位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
------	------	------------	-----

51 松下 信治

Nobuharu Matsushita

BYOUBUGAURA B-MAX SF19
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1993年10月13日
- 出身地 埼玉県
- 血液型 B型
- Website <https://www.nobuharu.com/>

Race Career

2009	全日本カート選手権 KF シリーズ17位
2010	全日本カート選手権 Super KF シリーズ3位
2011	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ (SRS-F)
2012	フォーミュラチャレンジ・ジャパン (FCJ) チャンピオン
2013	全日本F3選手権 シリーズ5位
2014	全日本F3選手権 チャンピオン
2015	GP2シリーズ 9位
2016	GP2シリーズ 11位
2017	FIA F2選手権 シリーズ6位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ10位
2019	FIA F2選手権 シリーズ6位
2020	全日本スーパーフォーミュラ選手権スポット参戦 シリーズ15位
	SUPER GT (GT300) スポット参戦 シリーズ23位
	FIA F2選手権 シリーズ15位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2018	No.6 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	10(7)	—
2020	No.50 Buzz Racing with B-Max	15(16)*	—

*は有効ポイント

富士スピードウェイ

FUJI SPEEDWAY

第1戦 4月3日(土)・4日(日)

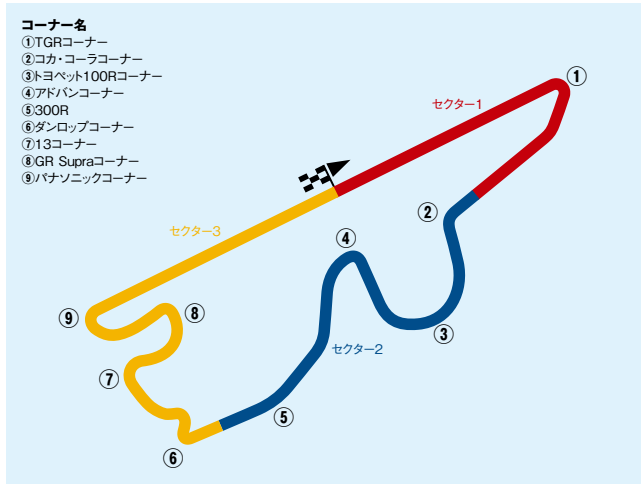
西の鈴鹿、東の富士と日本を代表する2大サーキットのひとつ。歴史も長く、日本のモータースポーツを育て、支えてきただけでなく、F1や世界耐久選手権などビッグイベントも開催してきた。約1.5kmにおよぶ世界屈指の長いストレートをもち、高速コースとして知られたが、2005年に改修されコース後半はテクニカルなレイアウトとなった。



アクセス

- 〔クルマ〕** 東名高速道路・御殿場ICより15分。
中央高速道路・河口湖IC～富士五湖道路・須走ICより10分。
- 〔電車〕** JR御殿場線／小田急・御殿場駅よりバス25分。

富士スピードウェイ株式会社
〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向694
TEL:0550-78-1234 FAX:0550-78-0205 <https://www.fsw.jp>



コースデータ

全長	4.563km
コース幅	15～25m
ストレート長	1,475m(メインストレート)
コーナー数	16

コースレコード

SF	1'19.972	2020年12月20日(土)
野尻智紀 / TEAM MUGEN SF19・HONDA/M-TEC HR-417E 2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第7戦 予選		
F1	1'17.287	2008年10月11日(土)
フェリペ・マッサ / フェラーリF2008 2008年 F1世界選手権 第16戦 フジテレビジョン 日本グランプリレース 予選		
F3	1'33.309	2018年10月13日(土)
坪井翔 / ダラーラF317・トヨタ 2018年 全日本F3選手権 第18戦 予選		

鈴鹿サーキット

SUZUKA CIRCUIT

第2戦 4月24日(土)・25日(日) / 第6戦 10月30日(土)・31日(日)

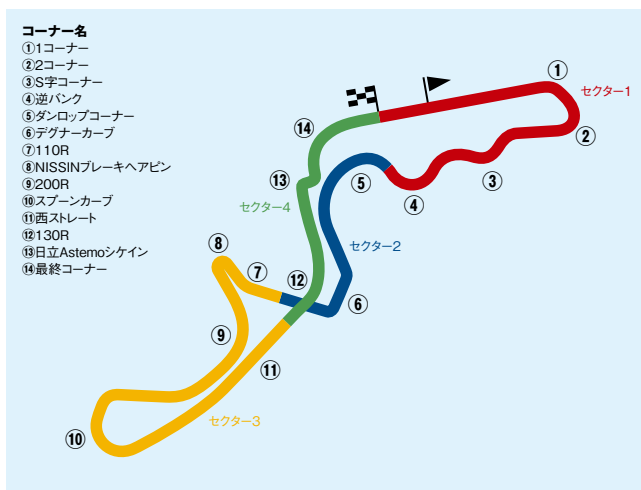
1962年、日本初の本格的サーキットとして誕生。世界的にも珍しい立体交差のある8の字型のレイアウトで低速から高速コーナーまでバランスよく配置されている。1987年にF1日本グランプリを開催してから海外でも広く知られるようになり、リズムカルでチャレンジングなレイアウトは世界でもベストコースのひとつと評価する関係者も多い。



アクセス

- 〔クルマ〕** 東名阪自動車道・鈴鹿ICより。東名阪自動車道・亀山ICより。
- 〔電車〕** 近鉄・白子駅よりバス20分、タクシー15分。近鉄・平田町駅よりタクシー15分。伊勢鉄道・鈴鹿サーキット稲生駅より徒歩30分。

株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-9181 <http://www.suzukacircuit.jp>



コースデータ

全長	5.807km
コース幅	10～16m
ストレート長	800m(メインストレート) 1000m(西ストレート)
コーナー数	18

コースレコード

SF	1'34.442	2020年12月6日(日)
ニック・キャシディ / VANTELIN KOWA TOM'S SF19・TOYOTA/TRD TRD01F 2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 予選		
F1	1'27.064	2019年10月13日(日)
セバスチャン・ベッテル / フェラーリSF90 2019年 F1世界選手権 第17戦 日本グランプリ 予選		
F3	1'50.999	2017年4月22日(土)
高星明誠 / ダラーラF312・フォルクスワーゲン 2017年 全日本F3選手権 第4戦 予選		

オートポリス

AUTOPOLIS

第3戦 5月15日(土)・16日(日)

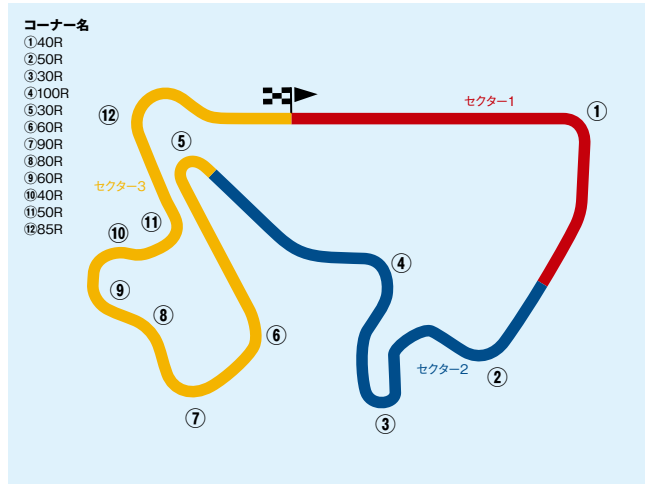
かつてスポーツカー世界選手権 (SWC) も開催された九州で初めての本格的国際格式のサーキット。阿蘇山の近くに位置し、アップダウンに富んだレイアウトが特徴で高低差は50mにも及ぶ。メインストレートは900mと長めだが、コース後半の下り坂からの右コーナー (右図⑥) をはじめ、全体的にテクニカル&チャレンジングなコースといえる。



アクセス

〔クルマ〕 大分自動車道・日田ICより70分。大分自動車道・湯布院ICより70分。福岡自動車道・福岡ICより140分。熊本市内より70分。
〔飛行機〕 熊本空港より車で40分。

株式会社オートポリス
 〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8
 TEL:0973-55-1111 FAX:0973-55-1113 <http://www.autopolis.jp>



コースデータ

全長	4.674km
コース幅	12~15m
ストレート長	902m(メインストレート)
高低差	52m

コースレコード

SF	1'24.140	2020年11月15日(土)
野尻智紀 / TEAM MUGEN SF19・Honda/M-TEC HR-417E 2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦 予選		
グループC	1'27.188	1991年10月26日(土)
テオ・ファビ / ジャガー-XJR-14 1991年 スポーツカー世界選手権 第8戦 予選		
F3	1'37.412	2017年9月9日(土)
坪井翔 / ダラーF317・トヨタ 2017年 全日本F3選手権 第17戦 予選		

スポーツランドSUGO

SPORTSLAND SUGO

第4戦 6月19日(土)・20日(日)

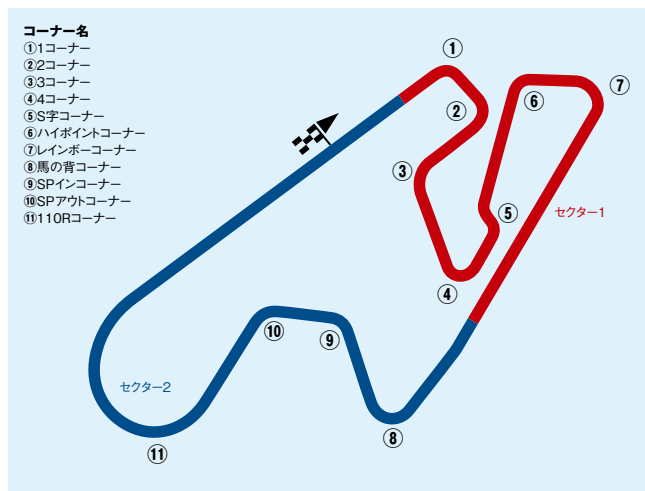
宮城県仙台郊外の山間にあり、地形を活かした高低差の大きなコース。最終コーナーからメインストレートにかけて10%という急勾配をマシンが駆け上ってくる姿はこのサーキットの特徴的なシーンとして知られる。前半はコーナーが連続するテクニカルなセクターで、後半は中高速のパートとなっている。



アクセス

〔クルマ〕 東北自動車道・村田ICより10分。仙台南ICより15分。
〔電車〕 東北新幹線・JR仙台駅よりバス60分。
〔飛行機〕 仙台空港より車で40分。

株式会社菅生
 〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生6-1
 TEL:0224-83-3111 FAX:0224-83-3790 <http://www.sportsland-sugo.co.jp>



コースデータ

全長	3.586km
コース幅	10~12.5m
ストレート	704m
高低差	69.83m

コースレコード

SF	1'03.953	2019年6月22日(土)
山本尚貴 / DOCOMO DANDELION M1S SF19・Honda/M-TEC HR-417E 2019年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦 予選		
F3	1'11.871	2018年9月29日(土)
坪井翔 / ダラーF317・トヨタ 2018年 全日本F3選手権 第15戦 予選		

ツインリンクもてぎ

TWINRING MOTEGI

第5戦 8月28日(土)・29日(日) / 第6戦 10月16日(土)・17日(日)
 通常のロードコースと日本唯一のオーバル(楕円)コースと、ふたつの異なるタイプを持つ世界的にもまれなサーキット。スーパーフォーミュラで使うロードコースは比較的急なカーブと直線を結んだストップ(減速) & ゴー(加速)の多いレイアウトとなっている。そのため、ブレーキやタイヤの摩耗が厳しい。

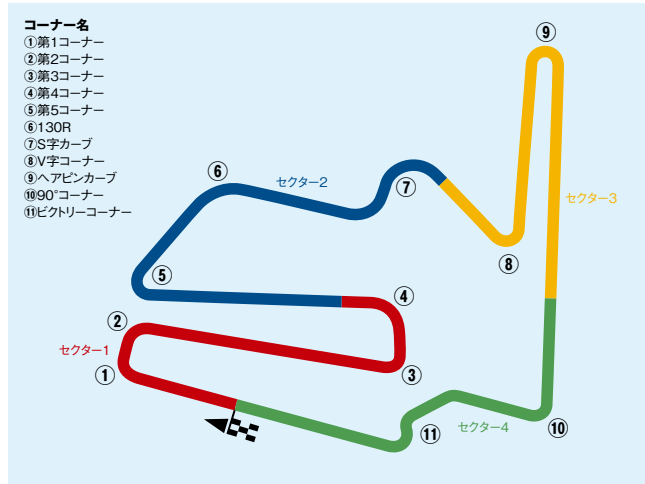


アクセス

〔クルマ〕 北関東自動車道・真岡IC、友部ICより。常磐自動車道・水戸IC、那珂IC、水戸北スマートICより。東北自動車道・宇都宮ICより。

〔電車〕 真岡鉄道・茂木駅よりバス20分。東北新幹線・JR宇都宮駅よりバス90分。常磐線・JR水戸駅よりバス90分。

株式会社モビリティランド ツインリンクもてぎ
 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1
 TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009 <http://www.twinring.jp>



コースデータ

全長	4.801km
コース幅	14
ストレート長	762m(ダウンヒルストレート)
高低差	30.4m
コーナー数	14

コースレコード

SF 1'31.083 2020年8月30日(土)
 平川亮 / ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19・TOYOTA/TRD TRD01F
 2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦 予選

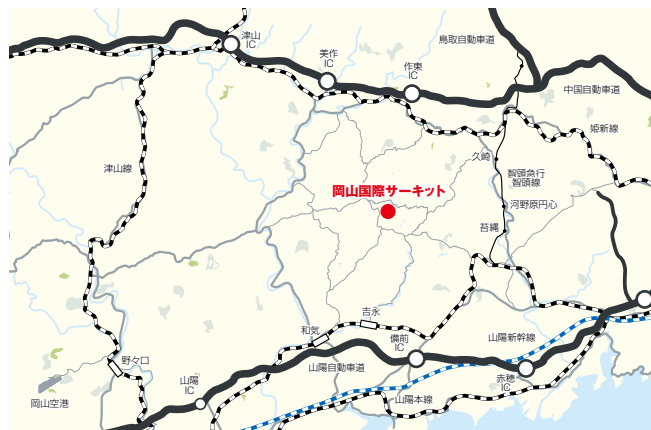
F3 1'43.484 2018年8月18日(土)
 坪井翔 / ダラーラF317・トヨタ
 2018年 全日本F3選手権 第10戦 予選

岡山国際サーキット

OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT

第6戦の予定だったが開催地変更

現在、中国地方で唯一のビッグレース開催サーキット。1994、95年にはF1を開催したこともある。コース長は3.7kmで、中低速コーナーの多いこぢんまりとしたテクニカルなレイアウトで観客席との距離が近い。各コーナーは往年のドライバーの名がつけられているのも特徴。2015年より、2008年以来7年ぶりにスーパーフォーミュラが開催されるようになった。



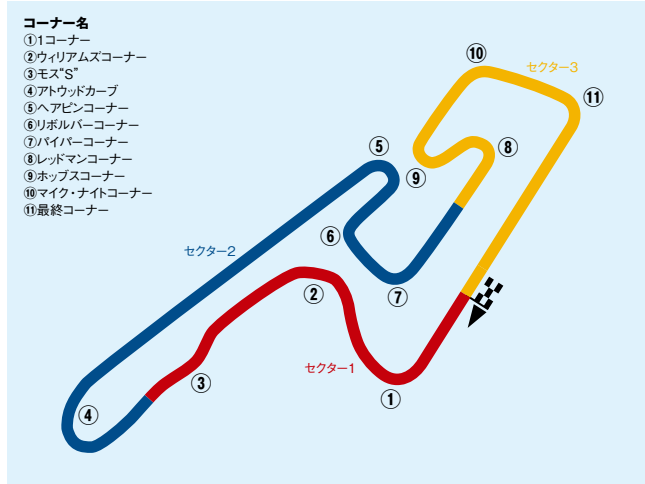
アクセス

〔クルマ〕 山陽自動車道・備前IC / 和気ICより30分。中国自動車道・美作ICより30分、作東ICより20分

〔電車〕 山陽新幹線・JR岡山駅よりバス+タクシーで80分。山陽本線JR吉永駅より車で20分。

〔飛行機〕 岡山空港より車で60分。

株式会社岡山国際サーキット
 〒701-2612 岡山県美作市滝宮1210
 TEL:0868-74-3311 FAX:0868-74-2600 <http://www.okayama-international-circuit.jp>



コースデータ

全長	3.703km
コース幅	12~15m
ストレート長	600m(メインストレート) 700m(バックストレート)
高低差	29m
コーナー数	13

コースレコード

SF 1'12.429 2015年5月23日(土)
 石浦宏明 / P.MU/CERUMO・INGING SF14・TOYOTA R14A
 2015年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第2戦 予選

F1 1'10.218 1994年4月15日(金)
 アイルトン・セナ / ウィリアムズFW16・ルノー
 1994年 F1世界選手権 第2戦 バンフィックGP 予選

F3 1'20.990 2016年5月28日(土)
 ヤン・マーデンポロー / ダラーラF314・フォルクスワーゲン
 2016年 全日本選手権F3選手権 第6戦 予選

1996-2020 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2000

TEAM

DRIVER

2000 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	113	6	Team Morinaga NOVA	9
2	TEAM SZIGEN	45	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	9
3	TEAM IMPUL	34	8	TEAM LEYJUN	5
4	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	27	9	MOONCRAFT	2
5	Team LeMans	16			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2000 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 3/26	Rd.02 もてぎ 4/16	Rd.03 MINE 5/21	Rd.04 富士 6/4	Rd.05 鈴鹿SP 7/2	Rd.06 SUGO 7/30	Rd.07 もてぎ 8/20	Rd.08 富士 9/3	Rd.09 MINE 9/17	Rd.10 鈴鹿 11/5	Total
1	0	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード2KL	10	10*	(R)*	10	10*	10*	10*	10	10*	6	86
2	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L	6	6	6	(NS)*	4	2	6	2	(R)	3	35
3	19	本山 哲	TEAM IMPUL	レイナード99L	1	3	(R)	(8)	1	3	4	6*	6	10*	34
4	2	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	(12)	4	10	(16)	2	(11)	3	(R)	4	4	27
5	7	野田 英樹	Team LeMans	レイナード99L	(R)	(10)	4	(15)	6	(R)	2	1	(17)	2	15
6	55	金石 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	3	1	2	4	(R)	4	(11)	(R)	—	—	14
7	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	(11)	2	3	6	(8)	(R)	(9)	(R)	1	1	13
8	5	服部 尚貴	TEAM SZIGEN	レイナード99L	4	(7)	1	2	3	(R)	(7)	(8)	(8)	(9)	10
9	9	R.ファーマン	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03B	(R)*	(11)	(R)	1	(7)	6	(10)	(13)	2	(R)	9
10	11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(8)	(R)	(R)	3	(R)	(R)	(R)	3	3	(12)	9
11	62	柴原 真介	TEAM LEYJUN	レイナード2KL	(9)	(12)	(9)	(7)	(9)	1	(R)	4	(13)	(14)	5
12	14	脇阪 薫一	MOONCRAFT	レイナード99L	2	(8)	(R)	(R)	(R)	(8)	(13)	(9)	(R)	(8)	2
13	8	五十嵐 勇大	Team LeMans	レイナード99L	(R)	(15)	(R)	(12)	(12)	(R)	1	(10)	(16)	(R)	1
10	10	山西 康司	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03B	(R)	(9)	(7)	(11)	(14)	(R)	(R)	(R)	(7)	(7)	0
3	3	近藤 真彦	Olympic KONDO Racing Team	レイナード99L	(7)	(14)	(R)	(13)	(13)	(7)	(R)	(R)	(11)	(10)	0
68	道土 龍	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード2KL	(R)	(13)	(R)	(R)	(10)	(R)	(8)	(7)	(9)	(R)	(R)	0
12	J.ヴェルチュール	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(13)	(R)	(8)	(R)	(R)	(R)	(12)	(11)	(12)	(11)	(10)	0
21	A.ユーン	TEAM MALAYSIA	レイナード99L	(NS)	(R)	(R)	(9)	(11)	(9)	(R)	(12)	(R)	(R)	(R)	0
36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 RACING TEAM	レイナード99L	(R)	(R)	(10)	(10)	(15)	(10)	(R)	(R)	(14)	(R)	(R)	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード99L GフォースGF03	(10)	(R)	(11)	(14)	(R)	—	(14)	(14)	(15)	(13)	(R)	0
4	4	土屋 武士	Olympic KONDO Racing Team	GフォースGF03	—	—	—	—	—	—	—	—	(10)	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、—は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2001

TEAM

DRIVER

2001 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	TEAM SZIGEN	53	6	MOONCRAFT	22
2	excite TEAM IMPUL	51	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	16
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	40	8	Team Morinaga NOVA	5
4	PIAA NAKAJIMA RACING	37	9	Team LeMans	2
5	Olympic KONDO Racing Team	34			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2001 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 3/25	Rd.02 もてぎ 4/22	Rd.03 MINE 5/20	Rd.04 富士 6/3	Rd.05 鈴鹿SP 7/1	Rd.06 SUGO 7/29	Rd.07 富士 9/2	Rd.08 MINE 9/23	Rd.09 もてぎ 10/21	Rd.10 鈴鹿 11/18	Total
1	19	本山 哲	excite TEAM IMPUL	レイナード01L	(R)	(9)*	10*	(R)*	10	10	3	10	6	(R)	49
2	5	服部 尚貴	TEAM SZIGEN	レイナード99L	10*	10	2	10	(8)	(7)	(12)	1	(18)	(10)	33
3	3	立川 祐路	Olympic KONDO Racing Team	レイナード01L	(13)	6	(11)	(R)	3	3	6	4	2	6	30
4	2	R.ファーマン	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	2	(R)	6	1	(R)	(R)	(7)	(8)	10*	10	29
5	55	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	6	(10)	(12)	(14)	1	6*	10*	(失)	(16)	(R)	23
6	14	道土 龍	MOONCRAFT	レイナード01L	—	(R)	(10)	4	6*	4	(R)	(R)	4	4	22
7	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L、01L	(R)	3	3	6	(R)	1	4	(R)	(7)	3	20
8	56	土屋 武士	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	(10)	(11)	4	(R)	4	(R)	(14)	6	1	2	17
9	11	影山 正美	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	3	2	1	2	(R)	(11)	1	3	(8)	(7)	12
10	1	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード2KL	(R)	4	(8)	(R)	2	2	(R)	(R)	(9)	(9)*	8
11	10	A.クート	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03C レイナード99L	(R)	(R)	(R)	(12)	(R)	(R)	2	(R)	3	(14)	5
12	12	荒 聖治	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	4	(R)	(R)	(R)	(9)	(10)	(8)	(R)	(12)	(R)	4
12	4	金石 勝智	Olympic KONDO Racing Team	レイナード99L	(7)	1	(15)	3	(R)	(9)	(11)	(R)	(11)	(13)	4
14	7	山西 康司	Team LeMans	レイナード99L	—	—	—	—	—	—	(10)	2	(10)	(R)	2
14	20	N.カーテイヤン	excite TEAM IMPUL	レイナード99L	1	(7)	(9)	(R)	(R)	(13)	(9)	(R)	(14)	1	2
7	7	A.ユーン	Team LeMans	レイナード99L	(11)	(R)	(7)	(7)	(10)	(R)	—	—	—	—	0
8	8	五十嵐 勇大	Team LeMans	レイナード99L	(9)	(R)	(R)	(11)	(7)	(8)	(17)	(R)	(17)	(8)	0
36	36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 CAR倶楽部	レイナード2KL、99L	(15)	(NS)	(14)	(8)	(R)	(15)	(15)	(7)	(15)	(R)	0
9	9	R.ライアン	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03	(8)	(8)	(R)	(9)	(11)	(12)	(R)	(R)	(13)	(12)	0
37	37	影山 正彦	TAKAGI B-1 CAR倶楽部	レイナード99L	(12)	(R)	(R)	(10)	(NS)	(14)	(16)	(R)	(R)	(R)	0
68	68	野田 英樹	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード2KL	(R)	(R)	(R)	(13)	(12)	(R)	(13)	(R)	(R)	(11)	0
69	69	J.ヴェルチュール	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード99L	(14)	(R)	(13)	(NS)	—	—	—	—	—	—	0
69	69	光良 秀俊	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード99L	—	—	—	(13)	—	—	—	—	—	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、失=失格、—は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2020 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2002

TEAM

DRIVER

2002 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	81	6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	6
2	XBOX TEAM IMPUL	60	7	Olympic KONDO Racing Team	3
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	44	8	FORWARD NOVA	2
4	TEAM 5ZIGEN	34	9	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	1
5	Team LeMans	29			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2002 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/24	Rd.02 富士 4/7	Rd.03 MINE 5/19	Rd.04 鈴鹿(東SP) 7/7	Rd.05 もてぎ 7/21	Rd.06 SUGO 8/4	Rd.07 富士 9/1	Rd.08 MINE 9/22	Rd.09 もてぎ 10/20	Rd.10 鈴鹿 11/3	Total
1	31	R.フアーマン	PIAA NAKAJIMA RACING	10*	6	(R)*	10	(9)	10	6	6	10	4	62
2	1	本山 哲	XBOX TEAM IMPUL	(R)	10*	10	2	10	(R)	4	10	4	10	60
3	55	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	2	4	(R)	4	4*	(R)	10	(8)	6*	3*	33
4	8	土屋 武士	Team LeMans	6	1	4	(NS)*	6	3*	(R)*	(7)*	1	6	27
5	32	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	4	(10)	6	(R)	(13)	2	(R)	3	3	1	19
6	6	道上 龍	TEAM 5ZIGEN	3	(NS)	-	-	3	4	3	4	(12)	(11)	17
7	56	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	(R)	(R)	3	1	2	1	2	2	(R)	(7)	11
8	5	服部 尚貴	TEAM 5ZIGEN	1	(R)	(R)	3	1	(12)	1	1	(8)	2	9
9	6	光貞 秀俊	TEAM 5ZIGEN	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	8
10	68	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	-	-	(7)	(8)	(11)	6	(7)	(R)	(7)	(R)	6
11	3	荒 聖治	Olympic KONDO Racing Team	(8)	3	(9)	(10)	(NS)	(R)	(R)	(9)	(11)	(10)	3
12	7	D.シュワガー	Team LeMans	-	-	(R)	(11)	(R)	(8)	(9)	(10)	2	(R)	2
12	10	黒澤 治樹	FORWARD NOVA	(9)	2	(R)	(14)	(12)	(10)	(12)	(R)	(R)	(12)	2
14	11	B.トレレイエ	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	(11)	(R)	1	(7)	(7)	-	-	-	-	-	1
2	M.クルム	XBOX TEAM IMPUL	(7)	(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
14	五十嵐 勇大	MOONCRAFT	(R)	(R)	(11)	(13)	(10)	(7)	(R)	(R)	(13)	(R)	0	
22	伊藤 大輔	Team 22	(10)	(9)	(10)	(9)	(8)	(9)	(8)	(11)	(10)	(8)	0	
4	金石 勝智	Olympic KONDO Racing Team	(12)	(R)	(8)	(12)	(R)	(11)	(10)	(12)	(14)	(9)	0	
68	J.コシェ	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(13)	(8)	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	-	-	-	-	-	(R)	(11)	(R)	(9)	(R)	0	
9	山本 清大	ソフト・オン・デマンド NOVA	(15)	(11)	(12)	(R)	(R)	(R)	(13)	(NS)	(15)	(13)	0	
7	影山 正美	Team LeMans	(14)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●マシンはレイナード99L~2KL~01L、エンジンは無限MF308を全車が使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2003

TEAM

DRIVER

2003 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	TEAM IMPUL	91	6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	23
2	Forum eng. ARTA Team LeMans	38	7	TEAM 5ZIGEN	17
3	PIAA NAKAJIMA RACING	33	8	CARROZZERIA Team MOHN	1
4	TEAM 22	31			
5	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	26			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2003 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/23	Rd.02 富士 4/6	Rd.03 MINE 4/27	Rd.04 もてぎ 6/8	Rd.05 鈴鹿 7/6	Rd.06 SUGO 7/27	Rd.07 富士 8/31	Rd.08 MINE 9/21	Rd.09 もてぎ 10/19	Rd.10 鈴鹿 11/2	Total
1	19	本山 哲	TEAM IMPUL	10	10*	10*	(9)	(14)	10	6*	(13)*	6	4*	56
2	20	B.トレレイエ	TEAM IMPUL	(R)	6	(R)	(R)	6	3	10	10	(9)	(R)	35
3	22	脇阪 寿一	TEAM 22	(R)	2	(R)	10*	4	4	(R)	1	(R)	10	31
4	7	金石 年弘	Forum eng. ARTA Team LeMans	4	(8)	2	(7)	(R)	(8)	(R)	6	10*	(R)	22
4	2	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	6	3	(7)	1	(R)	6*	4	(9)	2	(R)	22
6	40	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(9)	(R)	(R)	4	10	2	(R)	(R)	4	(9)	20
7	12	井出 有治	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	3	(7)	4	6	(7)	(10)	(R)	4	(12)	2	19
8	8	土屋 武士	Forum eng. ARTA Team LeMans	(R)	(R)	6	3	2*	(7)	1	(12)	1	3	16
9	5	道上 龍	TEAM 5ZIGEN	(R)*	4	3	2	3	(R)	(R)	(R)	(13)	1	13
10	1	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	(12)	1	(R)	(R)	1	(R)	(R)	(14)	3	6	11
11	11	松田 次生	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	2	(9)	(R)	(R)	(15)	1	2	2	(14)	(R)	7
12	41	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(8)	(R)	(R)	(11)	(8)	(9)	(9)	3	(7)	(11)	3
12	6	J.コートニー	TEAM 5ZIGEN	-	-	-	-	-	-	3	(7)	(R)	(R)	3
14	28	野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	1	(10)	(8)	(R)	(12)	(R)	(R)	(10)	(R)	(10)	1
14	6	福田 良	TEAM 5ZIGEN	(7)	(R)	1	(R)	(13)	-	-	-	-	1	
4	D.シュワガー	Olympic KONDO Racing Team	(R)	(R)	(R)	(R)	(8)	(9)	(11)	(7)	(8)	(10)	(8)	0
10	加藤 寛規	OIZUMI TEAM NOVA	-	-	-	-	-	-	-	-	(R)	(11)	(7)	0
3	立川 祐路	Olympic KONDO Racing Team	(10)	(12)	(10)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(8)	(R)	0	
10	五十嵐 勇大	TEAM NOVA	-	-	-	-	(10)	(12)	(8)	-	-	-	0	
9	黒澤 治樹	PLANEX ECBRO NOVA	(R)	(R)	(9)	(10)	(11)	(R)	(R)	(R)	(11)	(R)	(12)	0
10	藤澤 哲也	カッチャオ TCPRO NOVA	(11)	(11)	(R)	(12)	-	-	-	-	-	-	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●マシンはローB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車無限MF308を使用。

1996-2020 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2004

DRIVER

TEAM

2004 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	62	6	Yellow Hat KONDO Racing Team	10
2	PIAA NAKAJIMA RACING	50	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	7
3	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	40			
4	Team LeMans/Team LeMans Spirit	37			
5	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	26			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2004 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/28	Rd.02 SUGO 5/2	Rd.03 もてぎ 6/6	Rd.04 鈴鹿 7/4	Rd.05 SUGO 8/1	Rd.06 MINE 8/29	Rd.07 セブン 9/19	Rd.08 もてぎ 10/24	Rd.09 鈴鹿 11/7	Total
1	40	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(8)	10*	(8)*	10*	3*	(8)	(9)	6	4*	33
2	31	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	6	3	10	(8)	(R)	(R)	10	4	(7)	33
3	20	井出 有治	mobilecast TEAM IMPUL	(12)*	6	6	4	(7)	(7)	(10)	10	6	32
4	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	(R)	1	3	6	(10)	10*	(7)	(R)	10	30
5	7	鶴坂 寿一	Team LeMans	(13)	4	(R)	2	4	6	4	(R)*	3	23
6	1	本山 哲	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	2	(12)	2	3	10	1	(R)	2	1	21
7	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	10	(9)	(9)	(7)	6	(R)	1	(9)	(8)	17
8	25	片岡 龍也	Team LeMans Spirit	(10)	(11)	4	(13)	(R)	3	2	3	(12)	12
9	41	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(7)	(7)	(R)	(10)	1	(10)	6*	(R)	(10)	7
10	3	道上 龍	Yellow Hat KONDO Racing Team	4	2	1	(R)	(R)	(11)	(8)	(10)	(13)	7
11	11	松田 次生	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	3	(R)	(12)	(9)	(失)	(12)	3	1	(R)	7
12	2	金石 年弘	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	1	(13)	(10)	(R)	(12)	4	(R)	(R)	(11)	5
13	8	土屋 武士	Team LeMans	(11)	(10)	(7)	(11)	(8)	2	(R)	(R)	2	4
14	4	立川 祐路	Yellow Hat KONDO Racing Team	(R)	(R)	(R)	1	2	(9)	(R)	(7)	(9)	3
28		野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	(9)	(8)	(11)	(R)	(11)	(R)	(R)	(11)	(14)	0
27		山西 康司	CARROZZERIA Team MOHN	—	—	—	(12)	(9)	—	—	(8)	—	0
12		影山 正美	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	—	—	—	—	—	(R)	(11)	(R)	(15)	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●*はポールポジション ●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●マシンはローラB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車が無限MF308を使用。

2005

DRIVER

TEAM

2005 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast IMPUL/arting IMPUL	101	6	TEAM 5ZIGEN	14
2	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	37	7	TEAM CERUMO	2
3	PIAA NAKAJIMA RACING	35			
4	KONDO Racing Team	21			
5	Forum Engineering Team LeMans	20			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2005 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 もてぎ 4/3	Rd.02 鈴鹿 4/17	Rd.03 SUGO 5/15	Rd.04 富士 6/5	Rd.05 鈴鹿 7/3	Rd.06 MINE 7/31	Rd.07 富士 8/28	Rd.08 もてぎ 10/23	Rd.09 鈴鹿 11/27	Total
1	23	本山 哲	arting RACING TEAM with IMPUL	3	3	10	6	10*	4	(13)	10*	6	52
2	20	井出 有治	mobilecast TEAM IMPUL	6*	10	2	(7)	(8)	10	4	3	4	39
3	1	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	10	2	6	3*	4	(R)	3*	(13)	2	30
4	31	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	(11)	(R)	(9)	(R)	(R)	(10)	10	(R)	10	20
5	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	(R)	4	4*	(8)	6	(R)	(11)	(9)	1	15
6	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	1	(9)*	(R)	10	(R)	(失)*	(12)	(11)	3	14
7	5	松田 次生	TEAM 5ZIGEN	(10)	6	(R)	4	1	3	(9)	(10)	(8)*	14
8	8	土屋 武士	Forum Engineering Team LeMans	2	(R)	3	(R)	(R)	2	2	4	(R)	13
9	4	R.クインレルリ	KONDO Racing Team	—	—	—	2	2	6	(R)	2	(10)	12
10	3	山本 左近	KONDO Racing Team	(14)	(R)	(R)	(R)	3	(8)	(R)	6	(11)	9
11	7	片岡 龍也	Forum Engineering Team LeMans	(7)	(8)	(8)	(R)	(R)	(7)	6	1	(7)	7
12	2	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	4	1	1	(10)	(7)	1	(7)	(7)	(14)	7
13	11	平中 克幸	TEAM CERUMO	(8)	(R)	(R)	1	(R)	(R)	1	(12)	(9)	2
4		J.ヤニス	KONDO Racing Team	(12)	(7)	(7)	—	—	—	—	—	—	0
12		高木 虎之介	TAKAGI PLANNING with CERUMO	(9)	(R)	(11)	(9)	(10)	(9)	(8)	(R)	(12)	0
28		野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	(R)	(R)	(10)	(R)	(9)	(R)	(10)	(8)	(13)	0
27		加藤 正将	CARROZZERIA Team MOHN	(13)	—	—	—	—	—	—	—	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●*はポールポジション ●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●マシンはローラB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車が無限MF308を使用。

1996-2020 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2008

TEAM
DRIVER

2008 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	LAWSON TEAM IMPUL	114.5	7	Team LeMans	22
2	PIAA NAKAJIMA RACING	103	8	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	21
3	PETRONAS TEAM TOM'S	58	9	STONEMARKET-BLAAK CERUMO/INGING	11
4	CERUMO/INGING	52.5	10	SG team 5ZIGEN	9
5	KONDO RACING	44	11	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	7.5
6	TP Checker TEAM IMPUL	42			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2008 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/6	Rd.02 鈴鹿 5/11	Rd.03 もてぎ 5/25	Rd.04 岡山 6/8	Rd.05 鈴鹿 7/13	Rd.06 もてぎ 8/10	Rd.07 富士 8/31	Rd.08 SUGO 9/21	Total			
1	1	松田 次生	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8J	16*	16*	16*	1(R)*	11*	(8)	9*	4	5	0.5	15	93.5
2	31	L.デュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	1	1	10	15	3	4	10	(R)	8	(7)	10	62
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8J	(R)	10	12	12	8	2	(11)	(7)	4	1	(12)	49
4	20	平手 晃平	TP Checker TEAM IMPUL	トヨタRV8J	(R)	12	5	10	4	5	(R)	(NS)	—	—	6	42
5	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	5	6	(R)	2	6	(7)	4	(R)	6	(6)	12	41
6	4	J.P.オベラ	KONDO RACING	トヨタRV8J	(R)	(R)	2	(11)	5	1	6	3	11*	(8)	5	33
7	48	立川 祐路	CERUMO/INGING	トヨタRV8J	12	(17)	4	8	(17)	(12)	5	2	(9)	(9)	(15)	31
8	2	B.トレルイエ	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8J	8	4	(R)	3	(R)	(13)	(15)	(R)	2	2	8	27
9	47	R.クインタレリ	CERUMO/INGING	トヨタRV8J	6	3	(R)	4	(10)	(9)	(R)	(13)	3	1.5	4	21.5
10	56	伊沢 拓也	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(R)	2	8	6	(12)	(R)	(R)	(12)	(18)	(17)	3	19
11	7	本山 哲	Team LeMans	トヨタRV8J	(R)	8	(16)	(R)	1	3	(9)	1	(14)	(14)	1(R)*	14
12	3	横溝 直輝	KONDO RACING	トヨタRV8J	(R)	5	(11)	5	2	(6)	(R)	(11)	(12)	(12)	(R)	12
13	67	R.ストレイト	STONEMARKET-BLAAK CERUMO/INGING	トヨタRV8J	10	(15)	(R)	(R)	(11)	(10)	(R)	(9)	(19)	(18)	1	11
14	5	金石 年弘	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(11)	(R)	6	(14)	(R)	(14)	3	(R)	(16)	(20)	(11)	9
15	37	荒 聖治	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8J	(R)	(11)	1	1	(13)	(11)	2	5	(10)	(10)	(16)	9
16	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8J	4	(13)	3	(R)	(14)	(R)	(13)	(8)	(17)	(16)	2	9
17	41	土屋 武士	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	3	(14)	(14)	(12)	(16)	(R)	1	(14)	(11)	(11)	(14)	4
18	40	松浦 孝亮	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	(12)	(16)	(12)	(13)	(9)	(R)	(10)	(6)	1	2.5	(13)	3.5
19	55	井出 有治	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	2	(18)	(15)	(R)	(15)	(R)	(12)	(R)	(R)	(19)	(17)	2
6	吉本 大樹	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	—	—	—	—	(18)	(15)	(14)	(10)	—	—	—	—	0
6	平中 克幸	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(R)	(12)	(13)	(15)	—	—	—	—	—	(15)	(15)	(R)	0
20	R.ライアン	TP Checker TEAM IMPUL	トヨタRV8J	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(13)	(13)	—	0

●数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~10位まで15-12-10-8-6-5-4-3-2-1点。予選ポールポジションにも1点。
●1大会2レースの場合、第1レースの得点は1~8位に10-8-6-5-4-3-2-1点。第2レースは1~5位に5-4-3-2-1点。●1大会2レースの第2レースは、第1レースの結果でスタートグリッドが決まるため、ポールポジションの得点はなし。
●第7戦富士の第2レースは雨によるレース途中中止のため、規定により通常得点の半分。●マシンはFN06、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2009

TEAM
DRIVER

2009 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	NAKAJIMA RACING	93	6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	25
2	PETRONAS TEAM TOM'S	52	7	HFDP RACING	20
3	LAWSON TEAM IMPUL	50	8	CERUMO/INGING	9
4	ahead TEAM IMPUL	31			
5	Team LeMans	31			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2009 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/5	Rd.02 鈴鹿 5/17	Rd.03 もてぎ 5/31	Rd.04 富士 6/28	Rd.05 鈴鹿 7/12	Rd.06 もてぎ 8/9	Rd.07 オートポリス 8/30	Rd.08 SUGO 9/27	Total
1	31	L.デュバル	NAKAJIMA RACING	ホンダHR09E	5	10	(R)	11*	11*	8	6	11*	62
2	2	B.トレルイエ	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8K	10	9*	8	(R)	6	6	1	(9)	40
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(10)	6	4	1	2	10	8	8	39
4	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR09E	1	(R)	11*	2	8	4*	11*	(10)	37
5	20	平手 晃平	ahead TEAM IMPUL	トヨタRV8K	7*	5	(R)	4	4	1	5	6	32
6	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8K	(11)	1	6	5	5	5	4	4	30
7	10	塚越 広大	HFDP RACING	ホンダHR09E	3	4	5	3	(9)	(10)	(R)	5	20
8	41	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR09E	8	2	(NS)	(R)	1	(9)	3	(11)	14
9	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	2	(R)	(R)	8	(10)	(11)	(9)	3	13
10	40	R.ライアン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR09E	(R)	3	2	6	(13)	(R)	(10)	(13)	11
11	1	松田 次生	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8K	(R)	(R)	3	(R)	(12)	4	2	2	11
12	48	立川 祐路	CERUMO/INGING	トヨタRV8K	4	(R)	(R)	(9)	3	2	(R)	(12)	9
13	7	国本 京佑	Team LeMans	トヨタRV8K	(9)	(9)	(NS)	(10)	(11)	(R)	(11)	1	1

●数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2020 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2010

TEAM

DRIVER

2010 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	Mobil 1 TEAM IMPUL	68	6	HFDP RACING	9
2	PETRONAS TEAM TOM'S	66	7	KCMG	4
3	NAKAJIMA RACING	56.5	8	DELIZIEFOLLIE/CERUMO・INGING	3
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	40.5	9	KONDO RACING	1
5	Team LeMans	24	10	MOTUL TEAM 無限	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

2010 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/18	Rd.02 もてぎ 5/23	Rd.03 富士 7/18	Rd.04 もてぎ 8/8	Rd.05 SUGO 9/26	Rd.06 オートポリス 10/17	Rd.07 鈴鹿 11/7	Total	
1	19	J.P.デ・オリベラ	Mobil 1 TEAM IMPUL	トヨタRV8K	8	11*	6	3	(11)	8	2.5	9*	47.5
2	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	6	6	8	(R)	6	10	3	4	43
3	1	L.デュバル	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	3	5	1(14)*	10	9*	(R)	9*	2.5	39.5
4	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	11*	3	4	9*	4	(R)	4	3	38
5	20	平手 晃平	Mobil 1 TEAM IMPUL	トヨタRV8K	5	2	10	6	(12)	1	(9)	1.5	25.5
6	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(12)	1	5	4	10	1(R)*	2	1	24
7	31	山本 尚貴	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	2	4	2	5	(R)	4	1.5	2	20.5
8	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8K	(10)	(R)	3	1	5	6	1	(10)	16
9	10	塚越 広大	HFDP RACING	ホンダHR10E	1	8	(11)	(10)	(R)	(失)	(10)	(12)	9
10	7	K.コッツォリーノ	Team LeMans	トヨタRV8K	(R)	(10)	1	(13)	2	5	(13)	(14)	8
11	2	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	4	(11)	(9)	(11)	3	(R)	(11)	(11)	7
12	18	平中 克幸	KCMG	トヨタRV8K	(R)	(R)	(13)	2	(R)	2	(12)	(13)	4
13	29	井口 卓人	DELIZIEFOLLIE/CERUMO・INGING	トヨタRV8K	(11)	(R)	(12)	(12)	(10)	3	(R)	(R)	3
14	3	松田 次生	KONDO RACING	トヨタRV8K	-	-	-	(R)	1	(R)	(14)	(9)	1
15	16	井出 有治	MOTUL TEAM 無限	ホンダHR10E	(9)	(9)	(10)	(9)	(9)	(R)	0.5	0.5	1

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2011

TEAM

DRIVER

2011 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	90	6	Project μ/cerumo・INGING	6.5
2	TEAM IMPUL	41	7	TEAM 無限	4
3	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	36.5	8	Team KYGNUS SUNOCO	3
4	Team LeMans	32	9	SGC by KCMG	2.5
5	NAKAJIMA RACING	18.5			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

2011 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 5/15	Rd.02 オートポリス 6/5	Rd.03 富士 7/17	Rd.04 もてぎ 8/7	Rd.05 鈴鹿 9/4	Rd.06 SUGO 9/25	Rd.07 もてぎ 11/6	Total	
1	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	10	-	10	8		10	9*	9*	56
2	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	6	10	6	6		6	4	4	42
3	1	J.P.デ・オリベラ	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	3	5	6*	11*		(失)	(9)	3	28
4	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	2	7*	4	5		5	3	0.5	26.5
5	7	大嶋 和也	Team LeMans	トヨタRV8K	4	8	(12)	1		4*	(R)	2	19
6	8	石浦 宏明	Team KYGNUS SUNOCO	トヨタRV8K	1	(10)	3	2		8	1.5	1.5	17
7	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	8	(R)	2	(R)		2	2	2.5	16.5
8	2	平手 晃平	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	(9)	1	8	4		1	1	(R)	15
9	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	5	3	(10)	3		(失)	(R)	(10)	11
10	33	国本 雄資	Project μ/cerumo・INGING	トヨタRV8K	(13)	(11)	(15)	(12)		4	2.5	(失)	6.5
11	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR10E	1(R)*	4	(9)	(14)		(11)	(12)	(R)	5
12	18	A.インベトーリ	SGC by KCMG	トヨタRV8K	(10)	2	(R)	(11)		(12)	0.5	(R)	2.5
13	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	(11)	(R)	1	(9)		(10)	(11)	1	2
10		小林 崇志	HP REAL RACING	ホンダHR10E	(R)	(9)	(11)	(15)		(R)	(10)	(11)	0
11		武藤 英紀	HP REAL RACING	ホンダHR10E	-	-	-	(10)		-	(R)	(9)	0
3		A.カルダレリ	KONDO RACING	トヨタRV8K	(R)	(R)	(13)	(13)		(9)	(R)	(R)	0
62		嵯峨 宏紀	Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(12)	(R)	(14)	(16)		(13)	(13)	(R)	0
36		井口 卓人	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	-	(12)	-	-		-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●第5戦鈴鹿は悪天候のため中止。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2020 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2012

TEAM
DRIVER

2012 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	78.5	6	Project μ/cerumo・INGING	10
2	PETRONAS TEAM TOM'S	76.5	7	NAKAJIMA RACING	4
3	TEAM IMPUL	51.5	8	TEAM 無限	4
4	Team KYGNUS SUNOCO	25	9	HP REAL RACING	2
5	Team LeMans	21.5			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

2012 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/15	Rd.02 もてぎ 5/13	Rd.03 オートボリス 5/27	Rd.04 富士 7/15	Rd.05 もてぎ 8/5	Rd.06 SUGO 9/23	Rd.07 鈴鹿 11/4	Total	
1	2	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	10	6	4	9*	5	4	(12)	8	46
2	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	8	4	11*	(9)	6	8	3	3	43
3	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	4*	5	8	(13)	4	11*	8	1.5	41.5
4	1	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	4	11*	(R)	10	8	(10)	2	0.5	35.5
5	19	J.P.デ・オリベラ	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	6	8	(R)	3	11*	3	2.5	1(R)*	34.5
6	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO	トヨタRV8K	(9)	(11)	6	5	3	6	1	4	25
7	7	大嶋 和也	Team LeMans	トヨタRV8K	5	1	3	6	(R)	5	0.5	1	21.5
8	20	松田 次生	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	1	3	5	4	2	(R)	5*	(R)	20
9	38	平手 晃平	Project μ/cerumo・INGING	トヨタRV8K	(10)	(R)	2	2	1	1	(9)	2	8
10	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(15)	(R)	(10)	(10)	(13)	(R)	1.5	2.5	4
11	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR12E	2	2	(9)	(12)	(R)	(14)	(15)	(R)	4
12	10	金石 年弘	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(12)	(13)	(12)	(R)	(11)	2	(14)	(14)	2
13	39	国本 雄資	Project μ/cerumo・INGING	トヨタRV8K	(14)	(9)	1	1	(10)	(13)	(11)	(12)	2
3	安田 裕信	KONDO RACING	トヨタRV8K	(11)	(12)	(13)	(16)	(9)	(11)	(13)	(9)	0	
15	佐藤 琢磨	TEAM 無限	ホンダHR12E	-	-	-	-	-	(9)	(17)	(10)	0	
31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(16)	(10)	(11)	(11)	(12)	(12)	(10)	(11)	0	
62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(13)	(14)	(R)	(14)	(R)	(15)	(16)	(13)	0	
11	中山 友貴	HP REAL RACING	ホンダHR12E	-	-	-	(15)	(14)	-	-	-	0	
18	折目 遼	SGC by KCMG	トヨタRV8K	(17)	(15)	(R)	(R)	(R)	(R)	(18)	(15)	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2013

TEAM
DRIVER

2013 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	58.5	6	NAKAJIMA RACING	21
2	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	42	7	DANDELION RACING	14
3	TEAM IMPUL	37.5	8	REAL RACING	4
4	MUGEN	32.5	9	KONDO RACING	3.5
5	INGING MOTORSPORT	21			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2013 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/14	Rd.02 オートボリス 6/2	Rd.03 富士 7/14	Rd.04 もてぎ 8/4	Rd.05 韓国 8/25	Rd.06 SUGO 9/29	Rd.07 鈴鹿 11/10	Total	
1	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR12E	5	6	6	1		6	9*	4*	37
2	2	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	-	11*	10	8		8	-	-	37
3	8	L.デュバル	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	-	8	6*	6		11*	-	-	31
4	1	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	4	(12)	1	11*		(R)	(R)	8	24
5	19	J.P.デ・オリベラ	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRV8K	3	5	3	5		(R)	3	(17)	19
6	20	松田 次生	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRV8K	8	4	(16)	(13)		4	2.5	(16)	18.5
7	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	11*	(R)	4	(R)		(R)	(10)	(9)	15
8	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	6	(R)	(14)	4		1	(R)	4	15
9	38	平手 晃平	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRV8K	(12)	(R)	8	(15)		(R)	2	1	11
10	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRV8K	(10)	(10)	2	3		5	(R)	(15)	10
11	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	1	2	(11)	2		(R)	1.5	2.5	9
12	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(16)	(R)	(10)	(10)		2	4	(11)	6
13	8	A.カルダレッリ	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	2	-	-	-		-	(R)	2	4
14	3	安田 裕信	KONDO RACING	トヨタRV8K	(14)	(9)	(12)	(R)		3	0.5	(13)	3.5
15	10	塚越 広大	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(9)	3	(9)	(9)		(R)	(R)	(R)	3
16	2	J.ロンター	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(11)	-	-	-		-	1	1.5	2.5
17	11	中山 友貴	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(18)	1	(R)	(11)		(R)	(11)	(12)	1
18	15	佐藤 琢磨	TEAM 無限	ホンダHR12E	(15)	-	-	-		(11)	(9)	0.5	0.5
41	武藤 英紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	(13)	(R)	(13)	(12)			(10)	(12)	(10)	0
62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(17)	(11)	(R)	(16)			(9)	(14)	(14)	0
18	R.ブラッドレー	KCMG	トヨタRV8K	(19)	(R)	(R)	(14)			(R)	(13)	(18)	0
15	小林 崇志	TEAM 無限	ホンダHR12E	-	(R)	(15)	(R)			-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF13、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2020 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2014

TEAM

DRIVER

2014 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	79.5	6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	14
2	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	46	7	TEAM 無限	12.5
3	P.MU/CERUMO_INGING	45.5	8	HP REAL RACING	10
4	Lenovo TEAM IMPUL	39.5	9	NAKAJIMA RACING	4
5	KONDO RACING	22			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。 ●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2014 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/13	Rd.02 富士 5/18	Rd.03 富士 7/13	Rd.04 もてぎ 8/24	Rd.05 オートボリス 9/14	Rd.06 SUGO 9/28	Rd.07 鈴鹿 11/9	Total		
1	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	3	4	3	10	2	3	8	4	9*	46
2	19	J.P.デ・オバイ	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRI4A	2	6*	4	(R)	11*	6	(R)	8	2.5	39.5
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	5*	2.5	6*	3	—	10	(R)	4*	4	34.5
4	8	L.デュバル	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	10	3	2.5	—	5	(15)	6	(11)	3	29.5
5	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO_INGING	トヨタRI4A	6	(R)	(11)	5	8	1	3	2	1	26
6	3	J.ロシター	KONDO RACING	トヨタRI4A	8	1.5	(17)	1	1	4	5	1.5	(10)	22
7	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO_INGING	トヨタRI4A	(13)	2	1	6	(13)	8	(9)	2.5	(R)	19.5
8	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	5	(R)	0.5	8	(10)	(13)	1	(16)	2	16.5
9	1	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	(11)	(R)	2	4	(15)	3*	3*	1	1.5	14.5
10	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(9)	(R)	(15)	(12)	(9)	(9)	10	(12)	(9)	10
11	10	塚越 広大	HP REAL RACING	ホンダHR-414E	(14)	(NS)	(9)	(R)	3	5	(R)	0.5	(13)	8.5
12	36*	A.カルダレリ	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	—	—	—	1(R)*	6	—	—	—	—	7
13	20	N.カーティケン	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRI4A	(R)	1	1.5	2	(R)	(17)	(11)	(10)	0.5	5
14	41	武藤 英紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(10)	(10)	(12)	(11)	4	(10)	(12)	(13)	(12)	4
15	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	(9)	(14)	(9)	(16)	(12)	4	(9)	(15)	4
16	11	V.リウツツィ	HP REAL RACING	ホンダHR-414E	1	0.5	(10)	(R)	(14)	(R)	(R)	(15)	(11)	1.5
34		伊沢 拓也	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	—	—	—	—	—	—	(R)	(14)	(14)	0
32		小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	(R)	(NS)	(R)	(11)	(R)	(10)	(R)	(16)	0
2		中山 友貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	(12)	(12)	(18)	(13)	(12)	(14)	(14)	(R)	(17)	0
18		中山 雄一	KCMG	トヨタRI4A	(R)	(13)	(16)	(10)	(R)	(16)	(13)	(R)	(18)	0
62		嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRI4A	(R)	(11)	(13)	(R)	(17)	(11)	(R)	(R)	(19)	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、—は不出場。 ●*はポールポジション。 ●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●2レース制は、各レース1~8位まで7-4-3-2-5-2-1-5-1-0.5点。 ●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者に別に3点が与えられる。 ●マシンはSF14、タイヤはブリヂストンのファンメイク。
*A.カルダレリはRd.3はNo.8 KYGNUS SUNOCO Team LeMansで出場。

2015

TEAM

DRIVER

2015 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	80.5	7	NAKAJIMA RACING	7
2	P.MU/CERUMO_INGING	56	8	KONDO RACING	5
3	LENOVO TEAM IMPUL	37	9	REAL RACING	4.5
4	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	33	10	DRAGO CORSE	2.5
5	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	25	11	KCMG	1.5
6	TEAM 無限	21			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントの合計。 ●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2015 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/19	Rd.02 岡山 5/24	Rd.03 富士 7/19	Rd.04 もてぎ 8/23	Rd.05 オートボリス 9/13	Rd.06 SUGO 10/18	Rd.07 鈴鹿 11/8	Total	
1	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO_INGING	トヨタRI4A	4	11*	6	11*	9*	4	4	2.5	51.5
2	1	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	8	—	8	8	10	5	2.5	4	45.5
3	2	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	10	1	4	5	(11)	11*	9*	(R)	40
4	19	J.P.デ・オバイ	LENOVO TEAM IMPUL	トヨタRI4A	5	4	10	6	4	2	(R)	3	34
5	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	1(15)*	5	(12)	1	2	8	(14)	9*	26
6	8	小林 可夢偉	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	(9)	8	(10)	(17)	6	3	3	(9)	20
7	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	1	6	1	3	(10)	6	2	(R)	19
8	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	(12)	(9)	3	2	5	1	(10)	2	13
9	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO_INGING	トヨタRI4A	(17)	(R)	5	(18)	1	(17)	1	0.5	7.5
10	64	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	3	(12)	(R)	4	(9)	(12)	(R)	(10)	7
11	41	N.カーティケン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	6	(10)	(R)	(9)	(14)	(13)	(12)	(14)	6
12	3	J.ロシター	KONDO RACING	トヨタRI4A	(16)	(R)	2	(12)	3	(14)	(R)	(R)	5
13	11	伊沢 拓也	REAL RACING	ホンダHR-414E	2	2	(11)	(10)	(12)	(R)	0.5	(15)	4.5
14	20	A.カルダレリ	LENOVO TEAM IMPUL	トヨタRI4A	(11)	3	1(9)*	(11)	(15)	(16)	(R)	(12)	4
15	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	(R)	(R)	(16)	(14)	(13)	(11)	1.5	1	2.5
16	18	中山 雄一	KCMG	トヨタRI4A	(13)	(R)	(15)	(16)	(19)	(10)	(R)	1.5	1.5
10		塚越 広大	REAL RACING	ホンダHR-414E	(NS)	(14)	(13)	(R)	(17)	(9)	(9)	(11)	0
4		W.ブラー	KONDO RACING	トヨタRI4A	(14)	(13)	(14)	(13)	(18)	(15)	(13)	(13)	0
65		B.バゲット	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(10)	(11)	(R)	(15)	(16)	(18)	(11)	(R)	0
1		大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	—	(15)	—	—	—	—	—	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=スタートできず、—は不出場。 ●*はポールポジション。 ●得点は各レース1位~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●2レース制は、各レース1位~8位まで5-4-3-2-5-2-1-5-1-0.5点。 ●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者に別に3点が与えられる。 ●マシンはSF14、タイヤはブリヂストンのファンメイク。

1996-2020 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2016

TEAM
DRIVER

2016 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	P.MU/CERUMO・INGING	54	6	TEAM 無限	14.5
2	VANTELIN TEAM TOM'S	51	7	REAL RACING	14.5
3	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL	42	8	KONDO RACING	12
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	36.5	9	DRAGO CORSE	8
5	NAKAJIMA RACING	15	10	SUNOCO TEAM LEMANS	6

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。 ●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2016 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/24	Rd.02 岡山 5/29	Rd.03 富士 7/17	Rd.04 筑波 8/21	Rd.05 岡山 9/10	Rd.06 SUGO 9/25	Rd.07 鈴鹿 10/30	Total		
1	2	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRi4A	8	1.5	(R)	5	4	5	(15)	8	1.5	33
2	36	A.ロッテラー	VANTELIN TEAM TOM'S	トヨタRi4A	2	0.5	5	8	(12)	2.5	4	4	4	30
3	20	関口 雄飛	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL	トヨタRi4A	(14)	(13)	6	11*	(13)	(9)	11*	(18)	0.5	28.5
4	41	S.バンドーン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	6	(12)	1*	3	5	1	3	(17)	8	27
5	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRi4A	(11)	6*	3	6	1	3	(16)	4*	4*	27
6	37	中嶋 一貴	VANTELIN TEAM TOM'S	トヨタRi4A	(12)	(17)	8	2	1(R)*	4	5	2	(16)	22
7	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	11*	2	(R)	1	(10)	1.5	(14)	(19)	(R)	15.5
8	19	J.P.デ・オバレイラ	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL	トヨタRi4A	(10)	(19)	10	(R)	0.5	2	(R)	0.5	2.5	15.5
9	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(9)	2.5	(13)	(R)	2.5	1(16)*	6	2.5	(R)	14.5
10	3	J.ロシター	KONDO RACING	トヨタRi4A	3	(9)	4	4	(9)	(10)	1	(12)	(15)	12
11	10	塚越 広大	REAL RACING	ホンダHR-414E	4	4	1	(12)	2	(11)	(11)	(11)	(12)	11
12	64	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	1	(R)	(10)	1.5	(12)	8	(10)	(10)	10.5
13	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	5	(15)	(12)	(11)	(11)	(14)	2	1	(9)	8
14	7	Nカーテケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS	トヨタRi4A	(R)	(16)	2	(R)	3	(R)	(12)	(15)	(14)	5
15	65	B.バゲット	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	1	(14)	(14)	(R)	(14)	(18)	(9)	1.5	2	4.5
16	11	伊沢 拓也	REAL RACING	ホンダHR-414E	(8)	3	(11)	(14)	(16)	0.5	(13)	(16)	(R)	3.5
17	8	小林 可夢偉	SUNOCO TEAM LEMANS	トヨタRi4A	(16)	(18)	(10)	(9)	(18)	(17)	(17)	(9)	1	1
18	中山 雄一	KCMG	トヨタRi4A	(13)	(10)	(9)	(15)	(17)	(13)	(R)	(14)	(11)	(11)	0
4	W.ブラー	KONDO RACING	トヨタRi4A	(15)	(11)	(R)	(13)	(15)	(15)	(10)	(13)	(13)	(13)	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2-5-2-1-5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤは横浜ゴムのワンメイク。

2017

TEAM
DRIVER

2017 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	P.MU/CERUMO・INGING	47.5	6	KCMG	16.5
2	TEAM MUGEN	43.5	7	KONDO RACING	12.5
3	VANTELIN TEAM TOM'S	41	8	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	6
4	SUNOCO TEAM LEMANS	34.5	9	REAL RACING	3
5	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL	27.5	10	TCS NAKAJIMA RACING	2

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。 ●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2017 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/23	Rd.02 岡山 5/28	Rd.03 富士 7/9	Rd.04 もてぎ 8/20	Rd.05 オートポリス 9/10	Rd.06 SUGO 9/24	Rd.07 鈴鹿 10/22	Total	
1	2	石浦 宏明	P.MU / CERUMO・INGING	TOYOTA Ri4A	5	0.5	5*	10	5	5	3	33.5	
2	15	P.ガスリー	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	(10)	(19)	1	4	10	10	8	33	
3	7	F.ローゼンクワイスト	SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA Ri4A	(11)	(12)	2.5	8	6	8	4	28.5	
4	19	関口 雄飛	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA Ri4A	(12)	5*	5	5	(16)	(10)	10	25	
5	37	中嶋 一貴	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA Ri4A	11*	(9)	(18)	2	(11)	3	6	22	
6	36	A.ロッテラー	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA Ri4A	4	5	3	6	2	(R)	(10)	1*	21
7	18	小林 可夢偉	KCMG	TOYOTA Ri4A	(9)	2.5	2	(15)	8	2	2	16.5	
8	1	国本 雄資	P.MU / CERUMO・INGING	TOYOTA Ri4A	6	(10)	(9)	1(R)*	(15)	4	5	16	
9	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	8	2	0.5	(R)	(13)	(R)	(18)	10.5	
10	3	N.キャンディ	KONDO RACING	TOYOTA Ri4A	(17)	3	(11)	(R)	4	(R)	1(19)*	8	
11	4	山下 健太	KONDO RACING	TOYOTA Ri4A	(14)	1	1.5	(R)	4*	(13)	(11)	6.5	
12	8	大嶋 和也	SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA Ri4A	(R)	(15)	(12)	(12)	(10)	6	(15)	6	
13	41	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	Honda HR-417E	1	(14)	(R)	3	(R)	(15)	1	5	
14	20	J.マーデンボロー	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA Ri4A	(18)	1.5	(17)	1	(14)	1	(9)	4.5	
15	10	塚越 広大	REAL RACING	Honda HR-417E	3	(11)	(16)	(9)	(9)	(9)	(16)	3	
16	64	中嶋 大祐	TCS NAKAJIMA RACING	Honda HR-417E	2	(16)	(14)	(11)	(12)	(11)	(17)	2	
17	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	Honda HR-417E	(16)	(13)	(10)	(10)	1	1(14)*	(12)	2	
50	小暮 卓史	B-Max Racing team	Honda HR-417E	(15)	(18)	(15)	(13)	(17)	(12)	(14)	(14)	0	
65	Nカーテケヤン	TCS NAKAJIMA RACING	Honda HR-417E	(13)	(17)	(13)	(14)	(R)	(R)	(13)	(13)	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2-5-2-1-5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤは横浜ゴムのワンメイク。
※Rd.7鈴鹿大会は予選のみ実施、決勝は雨の影響で中止。

1996-2020 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2018

TEAM

DRIVER

2018 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	KONDO RACING	47.5	7	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	11
2	JMS P.MU/CERUMO・INGING	35.5	8	TCS NAKAJIMA RACING	8
3	TEAM MUGEN	33	9	carrozzeria Team KCMG	7
4	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	33	10	REAL RACING	6
5	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	18.5		B-Max Racing team	0
6	VANTELIN TEAM TOM'S	15			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2018ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/22	Rd.02 オートボリス 5/13	Rd.03 SUGO 5/27	Rd.04 富士 7/8	Rd.05 もてぎ 8/19	Rd.06 岡山 9/9	Rd.07 鈴鹿 10/28	Total
1	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	11*		10	1	2	(10)	14*	38
2	3	N.キャンディ	KONDO RACING	TOYOTA R14A	2		8	11*	6	2	8	37
3	1	石浦 宏明	JMS P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA R14A	5		(11)	3	11*	1	(11)	25
4	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA R14A	8		(13)	8	(16)	6*	1	18
5	20	平川 亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA R14A	(R)	1*	(9)	5	8	3	(R)	17
6	36	中嶋 一貴	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA R14A	1		6	4	-	(17)	4	15
7	5	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	Honda HR-417E	6		3*	(14)	1	2.5	(9)	12.5
8	4	山下 健太	KONDO RACING	TOYOTA R14A	(9)		1	(18)	3	1.5	6	11.5
9	2	国本 雄資	JMS P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA R14A	(13)		(R)	6	(15)	0.5	5	11.5
10	6	松下 信治	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	Honda HR-417E	(12)		(10)	(9)	5	(9)	2	7
11	18	小林 可夢偉	carrozzeria Team KCMG	TOYOTA R14A	(10)		3	(12)	-	4	(13)	7
12	8	大嶋 和也	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA R14A	(15)		(15)	2	4	(16)	(14)	6
13	17	塚越 広大	REAL RACING	Honda HR-417E	3		(12)	(13)	(10)	(12)	3	6
14	7	T.ディルマン	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA R14A	-		5	(10)	(12)	(R)	(15)	5
15	65	伊沢 拓也	TCS NAKAJIMA RACING	Honda HR-417E	4		(14)	(15)	(14)	(14)	(16)	4
16	64	Nカーテイクン	TCS NAKAJIMA RACING	Honda HR-417E	(17)		4	(16)	(11)	(13)	(17)	4
50	千代 勝正	B-Max Racing team	Honda HR-417E	(14)		(R)	(17)	(19)	(15)	(10)	(10)	0
15	福住 仁嶺	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	(R)	-	-	-	(17)	(18)	(12)	(12)	0
37	J.ロシター	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA R14A	(11)		(R)	(19)	(9)	(11)	(R)	(R)	0
15	D.ティクトゥム	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	-	-	(R)	(11)	-	-	-	-	0
18	中山 雄一	carrozzeria Team KCMG	TOYOTA R14A	-	-	-	-	-	(13)	-	-	0
7	P.フィッパルディ	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA R14A	(16)	-	-	-	-	-	-	-	0
36	J.P.デ・オリベラ	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA R14A	-	-	-	-	-	(18)	-	-	0
15	阪口 晴南	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●最終戦に限り、レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤは横浜ゴムのワンメイク。
●Rd2オートボリスは予選のみ実施。決勝は雨の影響で中止。
●Rd.6は当初予定されていた周回数の75%に達しなかったため、選手権ポイントは半分となった。

2019

TEAM

DRIVER

2019 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	50	7	JMS P.MU/CERUMO・INGING	22
2	VANTELIN TEAM TOM'S	48	8	B-Max Racing with motopark	20
3	TCS NAKAJIMA RACING	28	9	carrozzeria Team KCMG	19
4	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	27	10	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	7
5	TEAM MUGEN	25	11	REAL RACING	2
6	KONDO RACING	25			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2019ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/21	Rd.02 オートボリス 5/19	Rd.03 SUGO 6/23	Rd.04 富士 7/14	Rd.05 もてぎ 8/18	Rd.06 岡山 9/29	Rd.07 鈴鹿 10/27	Total
1	37	N.キャンディ	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD Biz-01F	10	1	5	6	6	(10)	8	36
2	1	山本 尚貴	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	8	8	11*	(11)	(9)	2	4	33
3	64	A.バロウ	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	(R)	3	(13)	11*	6*	5	1*	26
4	16	野尻 智紀	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	5	(18)	(R)	5	1	(9)	13	24
5	3	山下 健太	KONDO RACING	TOYOTA/TRD Biz-01F	6	2	3	(17)	(13)	10	(9)	21
6	18	小林 可夢偉	carrozzeria Team KCMG	TOYOTA/TRD Biz-01F	(R)	(10)	8	3	8	(18)	(12)	19
7	5	福住 仁嶺	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	(11)	4	4	(9)	4	(R)	6	18
8	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD Biz-01F	(R)	10	(10)	1	(15)	(13)	5	16
9	50	L.アウアー	B-Max Racing with motopark	HONDA/M-TEC HR-417E	2	(11)	6	(R)	2	4	(11)	14
10	20	平川 亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD Biz-01F	(R)	(14)	(11)	(12)	10	1*	1	12
11	36	中嶋 一貴	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD Biz-01F	(R)	(13)	(12)	4	(16)	8	(14)	12
12	39	坪井 翔	JMS P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD Biz-01F	4	(12)	(R)	8	(17)	(11)	(10)	12
13	38	石浦 宏明	JMS P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD Biz-01F	(R)	(9)	2	2	3	(R)	3	10
14	8	大嶋 和也	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA/TRD Biz-01F	(12)	6	(17)	(13)	(11)	1	(17)	7
15	51	H.ニューウェイ	B-Max Racing with motopark	HONDA/M-TEC HR-417E	(R)	(17)	(R)	(16)	(19)	6	(20)	6
16	65	牧野 任祐	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1*	5	(14)	(10)	(R)	(17)	(13)	6
17	4	国本 雄資	KONDO RACING	TOYOTA/TRD Biz-01F	3	1*	1	(15)	(10)	(16)	(15)	5
18	15	P.オワード	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	-	-	-	(14)	(14)	3	-	3
19	17	塚越 広大	REAL RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	-	(15)	(9)	(18)	(18)	(14)	2	2
20	15	D.ティクトゥム	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	1	(R)	(15)	-	-	-	-	1
7	中山 雄一	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA/TRD Biz-01F	-	-	-	-	-	-	(15)	(16)	0
7	A.マルケロフ	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA/TRD Biz-01F	(10)	(R)	(16)	(19)	(12)	-	-	-	0
15	J.ビップス	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	-	-	-	-	-	-	-	(18)	0
17	T.ジャル/ロティエ	REAL RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●最終戦に限り、レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF19、タイヤは横浜ゴムのワンメイク。

1996-2020 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2020

DRIVER

TEAM

2020 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	VANTELIN TEAM TOM'S	77(84)	7	TEAM MUGEN	42(47)
2	JMS P.MU/CERUMO・INGING	72(75)	8	carrozzeria Team KCMG	37(37)
3	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	72(84)	9	Buzz Racing with B-MAX	16(16)
4	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	69(69)	10	ROOKIE Racing	5(5)
5	TCS NAKAJIMA RACING	57(59)		ThreeBond Drago CORSE	0
6	KONDO RACING	46(49)			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。●上位5戦の有効ポイント制。数字は有効ポイント、()は合計ポイント。

2020 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 もてぎ 8/30	Rd.02 岡山 9/27	Rd.03 SUGO 10/18	Rd.04 オートポリス 11/15	Rd.05 鈴鹿 12/5	Rd.06 鈴鹿 12/6	Rd.07 富士 12/20	Total
1	5	山本 尚貴	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	(13)	5	11	1/15	*3/20	(R)	1/6	62(62)
2	20	平川 亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD TRD01F	*3/20	*3/8	2/15	(12)	(R)	4	5	60(60)
3	39	坪井 翔	JMS P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD TRD01F	(R)	20	(13)	(R)	(R)	8	2/20	50(50)
4	1	N.キャンディ	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD TRD01F	5	11	20	4	6	*3/(R)	8	50(57)
5	16	野尻 智紀	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	4	1	8	*3/20	2/4	6	*3/(R)	47(51)
6	65	大湯 都史樹	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	(15)	(15)	(12)	1	3	2/20	15	41(41)
7	3	山下 健太	KONDO RACING	TOYOTA/TRD TRD01F	1/15	-	5	6	2	5	1	34(35)
8	6	福住 仁義	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	6	3	1	2/2	1/(R)	15	(16)	29(30)
9	18	国本 雄資	carrozzeria Team KCMG	TOYOTA/TRD TRD01F	(R)	4	6	8	11	(R)	(15)	29(29)
10	38	石浦 宏明	JMS P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD TRD01F	3	15	3	(13)	5	1	(12)	27(27)
11	36	中嶋 一貴	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD TRD01F	8	-	(15)	-	15	(16)	2	25(25)
12	64	牧野 任祐	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	2	(R)	4	11	(R)	3	-	20(20)
13	4	S.フェネストラズ	KONDO RACING	TOYOTA/TRD TRD01F	2/(11)	1/(R)	1/(R)	(R)	1	(R)	3	19(19)
14	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD TRD01F	(R)	6	(11)	(11)	NS	11	NS	17(17)
15	50	松下 信治	Buzz Racing with B-Max	HONDA/M-TEC HR-417E	-	-	-	5	(R)	(14)	11	16(16)
16	7	小林 可夢偉	carrozzeria Team KCMG	TOYOTA/TRD TRD01F	(14)	-	(14)	-	8	(15)	(11)	8(8)
17	36	宮田 莉朋	VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD TRD01F	-	2/2	-	3	-	-	-	7(7)
18	15	笹原 右京	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	(11)	(13)	(R)	(14)	(R)	1/(11)	4	5(5)
19	14	大嶋 和也	ROOKIE Racing	TOYOTA/TRD TRD01F	1	(16)	2	(17)	(12)	2	(14)	5(5)
20	50	S.セッテ・カマラ	Buzz Racing with B-Max	HONDA/M-TEC HR-417E	-	-	*3/(R)	-	-	-	-	3(3)
3		阪口 晴南	KONDO RACING	TOYOTA/TRD TRD01F	-	(R)	-	-	-	-	-	0
7		中山 雄一	carrozzeria Team KCMG	TOYOTA/TRD TRD01F	-	(11)	-	(18)	-	-	-	0
12		T.カルデロン	ThreeBond Drago CORSE	HONDA/M-TEC HR-417E	(12)	-	-	(16)	(13)	(12)	(17)	0
12		塚越 広大	ThreeBond Drago CORSE	HONDA/M-TEC HR-417E	-	(12)	(R)	-	-	-	-	0
50		名取 鉄平	Buzz Racing with B-Max	HONDA/M-TEC HR-417E	-	-	-	-	-	-	-	0
50		高星 明誠	Buzz Racing with B-Max	HONDA/M-TEC HR-417E	-	(14)	-	-	-	-	-	0
51		C.ミレッジ	Buzz Racing with B-Max	HONDA/M-TEC HR-417E	-	-	-	(15)	(11)	(13)	NS	0
64		大津 弘樹	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	-	-	-	-	-	-	(13)	0

●各レースの数字は得点、左が予選、右が決勝。太字は優勝。●()は入賞者以外の決勝結果を表す。数字→順位、R→リタイア、NS→出走できず、-は不出場。●*はポールポジション。
●得点は各レース1~10位まで20-15-11-8-6-5-4-3-2-1点。予選の1~3位まで3-2-1点。
●1大会での予選と決勝レースの合計得点の上位最大5大会分の合計を有効得点とする。合計得点の数字は有効得点、()は合計得点。●マシンはSF19、タイヤは横浜ゴムのワンメイク。

1996-2020 CHAMPIONS

Formula Nippon
SUPER FORMULA

歴代チャンピオン

[ドライバー/チーム]

1996

ドライバー



ラルフ・シューマッハー (ドイツ)
X-JAPAN Racing Team LeMans

チーム



X-JAPAN Racing Team LeMans
ラルフ・シューマッハー / 服部 尚貴

1997

ドライバー



ペドロ・デ・ロサ (スペイン)
SHIONOGI TEAM NOVA

チーム



SHIONOGI TEAM NOVA
ペドロ・デ・ロサ / 藤田 章

1998

ドライバー



本山 哲 (日本)
LEMONed Racing Team LeMans

チーム



LEMONed Racing Team LeMans
N.フォンタナ / 本山 哲

1999

ドライバー



トム・コロネル (オランダ)
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム



PIAA NAKAJIMA RACING
トム・コロネル / 光貞 秀徳

2000

ドライバー



高木 虎之介 (日本)
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム



PIAA NAKAJIMA RACING
高木 虎之介 / 松田 次生

2001

ドライバー



本山 哲 (日本)
excite TEAM IMPUL

チーム



TEAM 5ZIGEN
服部 尚貴 / ミハエル・クルム

2002

ドライバー



ラルフ・ファーマン (イギリス)
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム



PIAA NAKAJIMA RACING
ラルフ・ファーマン / 松田 次生

2003

ドライバー



本山 哲 (日本)
TEAM IMPUL

チーム



TEAM IMPUL
本山 哲 / フノワ・トレルイエ

2004

ドライバー



リチャード・ドリアン (イギリス)
DoCoMo TEAM DANDELION RACING


チーム



mobilecast TEAM IMPUL
フノワ・トレルイエ / 井出 有治


2005

ドライバー



本山 哲 (日本)
mobilecast IMPUL/arting IMPUL

チーム



mobilecast IMPUL/arting IMPUL
フノワ・トレルイエ / 井出 有治 / 本山 哲

2006

ドライバー



フノワ・トレルイエ (フランス)
mobilecast TEAM IMPUL

チーム



mobilecast TEAM IMPUL
フノワ・トレルイエ / 松田 次生

2007

ドライバー



松田 次生 (日本)
mobilecast TEAM IMPUL

チーム



mobilecast TEAM IMPUL
フノワ・トレルイエ / 松田 次生

Formula Nippon
SUPER FORMULA

歴代チャンピオン

[ドライバー／チーム]

2008

ドライバー

松田 次生(日本)
LAWSON TEAM IMPUL

チーム

LAWSON TEAM IMPUL
松田次生 / フノワ・トレルイエ

2009

ドライバー

ロイック・デュバル(フランス)
NAKAJIMA RACING

チーム

NAKAJIMA RACING
ロイック・デュバル / 小暮 卓史

2010

ドライバー

ジョアオパロ・デオリベイラ(ブラジル)
Mobil 1 TEAM IMPUL

チーム

Mobil 1 TEAM IMPUL
ジャン・パオロ・デ・オリベイラ / 平手晃平

2011

ドライバー

アンドレ・ロツテラー(ドイツ)
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム

PETRONAS TEAM TOM'S
アンドレ・ロツテラー(井口 卓人) / 中嶋 一貴

2012

ドライバー

中嶋 一貴(日本)
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム

DOCOMO TEAM DANDELION RACING
伊沢拓也 / 塚越広大

2013

ドライバー

山本 尚貴(日本)
TEAM MUGEN

チーム

PETRONAS TEAM TOM'S
中嶋 一貴 / アンドレ・ロツテラー(ジェームス・ロシター)

2014

ドライバー

中嶋 一貴(日本)
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム

PETRONAS TEAM TOM'S
アンドレ・ロツテラー(アンドレア・カルダレリ) / 中嶋 一貴

2015

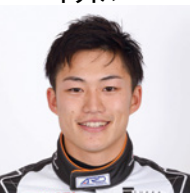
ドライバー


石浦 宏明(日本)
P.MU/CERUMO-INGING

チーム

PETRONAS TEAM TOM'S
中嶋 一貴(大嶋 和也) / アンドレ・ロツテラー

2016

ドライバー

国本 雄資(日本)
P.MU/CERUMO-INGING

チーム

P.MU/CERUMO-INGING
石浦 宏明 / 国本 雄資

2017

ドライバー

石浦 宏明(日本)
P.MU/CERUMO-INGING

チーム

P.MU/CERUMO-INGING
国本 雄資 / 石浦 宏明

2018

ドライバー

山本 尚貴(日本)
TEAM MUGEN

チーム

KONDO RACING
ニック・キャンディ / 山下 健太

2019

ドライバー

ニック・キャンディ(ニュージーランド)
VANTELIN TEAM TOM'S

チーム

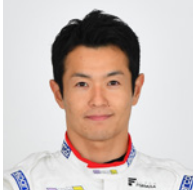
DOCOMO TEAM DANDELION RACING
山本 尚貴 / 福住 仁輔

Formula Nippon
SUPER FORMULA

歴代チャンピオン [ドライバー／チーム]

2020

ドライバー



山本 尚貴(日本)
DOCOMO TEAM DANDELION RACING

チーム



VANTELIN TEAM TOM'S
ニック・キャンディ / 中嶋一貴(宮田莉朗)

Formula NIPPON 1996-2012 SUPER FORMULA 2013-2020

- ★シリーズ戦のみを対象とし、10～13年のJAF GP 富士スプリントカップの成績は含まない。
- ★FN時代のシリーズ戦の大会数は、96～03年＝各10大会、04～07年＝各9大会、08～09年＝各8大会、10～12年＝各7大会で、全153大会。
- ★SF時代のシリーズ戦の大会数は、各年とも全7大会だが、13年第5戦韓国大会は開催予定時期の約1カ月前に中止となっているため、統計から完全に除外。よって13～20年のSFの総大会数は55。
- ★96～20年の計25シーズンにおけるシリーズ戦の総大会数は208とする。
- ★98年第7戦と17年最終戦（2レース制）、18年第2戦は決勝中止、11年第5戦は予選・決勝とも中止。
- ★08年第5～7戦と10～16年の各最終戦、14年第2戦、16年第5戦、17年第2戦が2レース制で実施されたため、決勝レースの実施総数は217（決勝中止の98年第7戦、17年最終戦＝2レース制、18年第2戦、そして予選・決勝とも中止の11年第5戦は含まず）。決勝出走等の統計に関しては、第1レースを原則として個別同等に扱う。
- ★08年第5～7戦の第2レースのグリッドは、第1レースの決勝結果による上位8台リバース制のため、「予選」としては取り扱わない（ポールポジションやポール・トゥ・ウイン、連続ポール等の統計対象とはしない）。10～17年各最終戦と14年第2戦、16年第5戦、17年第2戦の予選に関しては、第1レース、第2レースを個別に統計対象とする。予選の実施総数は218（予選中止の1戦含まず。決勝中止の場合の予選は統計に含む）。
- ★通常予選の実施後にスペシャルステージ（SS：上位、あるいは全車による単独アタック方式）を実施した場合は、SS1位がポールポジション。Q1～Q3ノックアウト方式の場合は、Q3の1位がポールポジションとなるが、10～16年最終戦と14年第2戦ではQ1結果が第1レースの予選結果、Q3まで経た結果が第2レースの予選結果となっているため、それぞれ個別同等にポールポジションとして扱う。17年最終戦も当初は同様の規則で実施される予定だったが、荒天への対応でいくつかの状況を想定した細則を採用しての予選遂行となり、結果的にはQ1のみの実施で、各自のベストタイム＝第1レースの予選順位、セカンドタイム＝第2レースの予選順位となっている（いずれも統計対象）。
- ★16年第5戦と17年第2戦は第1レース（初日）、第2レース（2日目）に対しての予選がそれぞれ当日に実施されたので、これも統計上、個別同等にポールポジションとして扱う（第2レースの予選はQ1～Q2ノックアウト方式）。
- ★03年第5戦と04年第2、4、7戦は2ヒート制での実施（赤旗によるものではなく、あらかじめの2ヒート制）。いずれかのヒートに出走していれば「決勝出走」と判断する。ポールポジション、ポール・トゥ・ウイン等に関しては、予選セッションの1位を統計対象とする（第1ヒート＝実質的な予選レースの1位は統計対象としない）。ファステストラップは、原則として第2ヒート＝実質的な決勝レースを統計対象とする。
- ★06年第1戦、08年第7戦第2レース、16年第2戦はセーフティカー先導走行のみで決勝レースが決着したため、ファステストラップに関しては統計対象としない。なお06年第1戦と16年第2戦に関してはポール・トゥ・ウインの対象とする（08年第7戦第2レースはリバースグリッドのため、ポール・トゥ・ウインの対象とはしない）。
- ★決勝失格者のファステストラップの有効性に関しては年代によって記録削除の方法等異なるが、ここでは原則無効とする。
- ★この記録を統計するにあたっては、JAF、JRP、タイヤメーカーの各サイトおよび、オートスポーツ誌、レーシングオン誌等を参考にした。解釈に関しての相違点等がそれぞれにあるため、必ずしもそれらの統計とは数字等が一致しない場合もある。

優勝回数

1	本山 哲	27回
2	A.ロッテラー	24回
3	L.デュバル	12回
4	高木虎之介	11回
	B.トルレイエ	11回
6	J.P.デ・オリベイラ	10回
7	中嶋一貴	9回
8	山本尚貴	8回
9	R.ファーマン	7回
	松田次生	7回
	小暮卓史	7回
12	P.デ・ラ・ロサ	6回
	関口雄飛	6回
14	服部尚貴	5回
	脇阪寿一	5回
	石浦宏明	5回
17	R.ライアン	4回
18	R.シューマッハー	3回
	N.フォンタナ	3回
	影山正美	3回
	T.コロネル	3回
	井出有治	3回
	伊沢拓也	3回
	N.キャンディ	3回
	野尻智紀	3回
26	金石勝智	2回
	影山正彦	2回
	光貞秀俊	2回
	平手晃平	2回
	国本雄資	2回
	S.バンドーン	2回
	P.ガスリー	2回
	平川 亮	2回
	坪井 翔	2回
35	星野一義	1回
	黒澤琢弥	1回
	金石年弘	1回
	R.クイントレリ	1回
	荒 聖治	1回
	松浦孝亮	1回
	大嶋和也	1回
	塚越広大	1回
	A.アロウ	1回
	山下健太	1回
	大湯都史樹	1回

ドライバースチャンピオン獲得回数

1	本山 哲	4回(98、01、03、05年)
2	山本尚貴	3回(13、18、20年)
3	松田次生	2回(07、08年)
	中嶋一貴	2回(12、14年)
	石浦宏明	2回(15、17年)
6	R.シューマッハー	1回(96年)
	P.デ・ラ・ロサ	1回(97年)
	T.コロネル	1回(99年)
	高木虎之介	1回(00年)
	R.ファーマン	1回(02年)
	R.ライアン	1回(04年)
	B.トルレイエ	1回(06年)
	L.デュバル	1回(09年)
	J-P.デ・オリベイラ	1回(10年)
	A.ロッテラー	1回(11年)
	国本雄資	1回(16年)
	N.キャンディ	1回(19年)

インバル：本山 哲



◀25シーズンで17人の王者が生まれている。日本人7名、外国人10名だが、タイトル総数は日本勢15：来日勢10と日本勢が優位。もちろんこれには、外国人勢にF1参戦等による卒業が多かった影響もあるだろう。最多4度を誇る本山には連覇がなく、07～08年の松田がFN～SFにおける現状唯一の連覇。最年少王者はシューマッハーで、戴冠時21歳4カ月弱。最年長での王座獲得は17年の石浦で、戴冠決定時36歳6カ月。

ナカジマ：小暮卓史



決勝出走回数

1	小暮卓史	126回
2	本山 哲	125回
3	A.ロッテラー	123回
4	松田次生	116回
5	立川祐路	100回

▲決勝出走というのは記録として最も曖昧な部分が多く、統計誤差が生じやすい部門であることをご承知おきいただきたい。赤旗再スタートに不参加の場合、最初のスタートに参加していれば「出走」と判断。また、フォーメーションラップ中や発進前のマシントラブル発生、スピン等による離脱に関しては、正式スタート後にコースインしていない限り「不出走」。それらを基準に可能な範囲の確認をしたなかでの上位5人となる。

インバル：本山 哲



▲45人が優勝者リストに名を刻んでおり、現状は7勝でトップ10という位置づけになっている（なお星野、服部、黒澤、高木については全日本F3000での優勝経験があり、星野に関してはF3000以前のF2等でも優勝経験があるが、それらは統計に含まれていない）。

ポールポジション獲得回数

1 本山 哲	20回
2 小暮卓史	15回
3 高木虎之介	14回
4 松田次生	13回
5 山本尚貴	12回
6 A.ロッテラー	11回
7 脇阪寿一	9回
J-P.デ・オリベira	9回
9 B.トレルイエ	8回
L.デュバル	8回
石浦宏明	8回
12 R.ライアン	7回
13 R.ファーマン	6回
14 土屋武士	5回
中嶋一貴	5回
野尻智紀	5回
17 P.デ・ラ・ロサ	4回
T.コロネル	4回
関口雄飛	4回
平川 亮	4回
21 服部尚貴	3回
伊沢拓也	3回
A.パロウ	3回
N.キャンディ	3回
25 R.シューマッハー	2回
黒澤琢弥	2回
影山正美	2回
M.クルム	2回
道上 龍	2回
井出有治	2回
大嶋和也	2回
塚越広大	2回
A.カルダレッリ	2回
国本雄資	2回
35 鈴木利男	1回
星野一義	1回
金石勝智	1回
N.フォンタナ	1回
影山正彦	1回
野田英樹	1回
光貞秀俊	1回
P.ダンブレック	1回
金石年弘	1回
平手晃平	1回
S.バンドーン	1回
山下健太	1回
J.マーデンポロー	1回
牧野任祐	1回
S.セッテ・カマラ	1回

インバル：本山 哲



▲49人がFN～SFで予選1位という栄誉に輝いている。統計対象は予選1位という意味でのポールポジションなので、03～04年の一部レース、2ヒート制の場合の第1ヒート1位はカウントされない（予選1位の方をカウント）。決勝中止となった18年の第2戦では平川が初ポールを獲得したが、決勝が実施された場合、彼は前戦で受けた3グリッド降格ペナルティにより4番グリッド発進になる予定だった。



インバル：本山 哲

決勝ファステストラップ獲得回数

1 本山 哲	20回
2 J-P.デ・オリベira	15回
3 脇阪寿一	10回
小暮卓史	10回
A.ロッテラー	10回
6 L.デュバル	9回
7 野田英樹	6回
B.トレルイエ	6回
松田次生	6回
10 R.ライアン	5回
中嶋一貴	5回
石浦宏明	5回
関口雄飛	5回
小林可夢偉	5回

▲上位14人（5回以上）。優勝よりもポールやファステストの数が多く傾向の脇阪、小暮がチャンピオンにはならず、3部門とも首位だが、なかでも優勝数が最も多い本山は4度王座に就いていることが象徴的ではある。レース後半に追いつけていくことが多い原則のファステストは、優勝数より多くならない方が理想的といえるのだろう。本山の記録傾向は見事な王者型。

ポール・トゥ・ウイン達成回数

1 本山 哲	10回
2 高木虎之介	8回
3 J-P.デ・オリベira	7回
A.ロッテラー	7回
山本尚貴	7回
6 小暮卓史	5回
L.デュバル	5回
8 P.デ・ラ・ロサ	4回
B.トレルイエ	4回
松田次生	4回
石浦宏明	4回
12 R.ファーマン	3回
中嶋一貴	3回
関口雄飛	3回

▲上位14人（3回以上）。レース中の順位変動には関係なく、ポールポジション＝予選1位と優勝を同時に記録した、という解釈になる（第1ヒート＝予選レースの結果は無視）。高木はチャンピオンとなった00年にこれを5回も達成。97年のデ・ラ・ロサ、08年の松田も各4回と圧倒的な強さを誇った。なお、トレルイエ（06年第1戦）と石浦（16年第2戦）には、セーフティカー先導走行のみのレースが含まれる。19年に初優勝したアレックス・パロウは同年終了時点で通算1勝だが、その1勝がポール・トゥ・ウインかつハットトリック。



インバル：本山 哲



ナカジマ：高木虎之介

連続優勝

1 高木虎之介	6連勝(00年第4～9戦)
2 本山 哲	4連勝(02年第10戦～03年第3戦)
3 R.ファーマン	3連勝(01年第9戦～02年第1戦)
松田次生	3連勝(08年第1～3戦)
A.ロッテラー	3連勝(11年第6戦～第7戦第2レース)

▲3連勝以上。本山とファーマンの記録はシーズン跨ぎのもの。あまり連勝はできない接戦のシリーズだけに、ここでも00年の高木のケタ外れの強さが光る。

連続ポールポジション

1 松田次生	6回(08年第1～6戦)
2 R.ライアン	4回(04年第2～5戦)
小暮卓史	4回(06年第5～8戦)
4 高木虎之介	3回(96年第4～6戦／00年第5～7戦)
T.コロネル	3回(99年第6～8戦)
本山 哲	3回(01年第2～4戦)
脇阪寿一	3回(01年第6～8戦)
土屋武士	3回(02年第6～8戦)
小暮卓史	3回(07年第7～9戦)

▲予選1位という意味での連続ポール（リバースポールは除外して考える）。3連続以上を記載しているが、該当10例はいずれも同一シーズン内の記録。08年の松田は、あと2戦というところで全戦ポール達成を阻まれた。高木は3回連続を96年と00年に2度マークしている。



インバル：松田次生



インバル：ジョアオ・パオロ・デ・オリベira

PP+WIN+FL＝ハットトリック達成回数

1 J-P.デ・オリベira	4回
2 L.デュバル	3回
3 高木虎之介	2回
本山 哲	2回
B.トレルイエ	2回
A.ロッテラー	2回

▲上位6人。ポール・トゥ・ウインに加えてファステストラップも記録した完全勝利である。全体として少ない印象だが、初期のフォーミュラ・ニッポンにはファステストラップ樹立者に高級腕時計が贈呈されていた時期もあったため、上位圏外でもそれを狙いに行ったドライバーがいたことも影響しているか？ 1回達成者は12人で、黒澤琢弥、P.デ・ラ・ロサ、影山正美、脇阪寿一、R.ファーマン、小暮卓史、松田次生、石浦宏明、関口雄飛、N.キャンディ、A.パロウ、山本尚貴。

年少初優勝

1	R.シューマッハー	20歳10ヵ月12日(96年第2戦)
2	松田次生	20歳11ヵ月3日(00年第3戦)
3	N.フォンタナ	21歳4ヵ月6日(96年第3戦)
4	P.ガスリー	21歳6ヵ月13日(17年第4戦)
5	A.ハロウ	22歳3ヵ月13日(19年第4戦)



チームルマン：ラルフ・シューマッハー

▲各自の初優勝のみを対象とした5傑。シューマッハーと松田は実に僅差だった。高木虎之介は95年の全日本F3000でトップフォーミュラ初優勝を果たしており、当時21歳と6ヵ月弱。実質的にはガスリー、ハロウより上位になる。なお、日数の端数の数え方は、月毎の誕生日を基点にした決勝日までの日数で、決勝日を含むものとした(冊子「History of Formula NIPPON 1996-2012」の作成時は、決勝日を含まない「完全経過日数」で記載したため、1日ずつの違いが生じる。その後、より一般的な記載法に準じて変更した)。

▼各自の最終優勝のみを対象とした5傑。近年は高齢優勝が目立つ傾向にあり、18年は石浦がこの部門で歴代2番目となる記録をマーク、本山の上に出た。星野の偉業には、最大限の敬意を払いたい(日数の端数については「年少初優勝」部門と同じ)。



インバル：星野一義

年長最終優勝

1	星野一義	48歳9ヵ月27日(96年第1戦)
2	石浦宏明	37歳3ヵ月27日(18年第5戦)
3	本山 哲	36歳8ヵ月14日(07年第9戦)
4	A.ロッテラー	35歳6ヵ月8日(17年第2戦第1レース)
5	J-P.デ・オリベイラ	35歳0ヵ月4日(16年第3戦)

チーム別優勝回数

1	インバル	64回
2	ナカジマ	44回
3	トムス	33回
4	チームルマン	16回
	ダンディライアン	16回
6	ノバ	10回
	無限	10回
8	セルモ・インギング	9回
9	スーパーアグリ~ARTA	5回
10	5ZIGEN	4回
11	KONDO	3回
12	TEAM22	2回
13	インギング	1回

▲「チーム」という定義付けは実に難しく、エントリー名と実質的なチーム母体が異なる場合をどうするか、などの問題がある。ARTAの一時期の勝利、およびTEAM22の全2勝は、チームルマンがメンテナンスを実行していた時期のものだが、それらはARTA、TEAM22の勝利としてカウントしている。03年の金石年弘(Forum eng. ARTA Team LeMans)の勝利はチームルマンとしてカウント。また、セルモとの合併以前のインギングの勝利は別扱いとした。セルモ・インギングとしては15年が初優勝。インバルは96年から毎年1勝以上を継続していたが、13年に途切れた(17年連続でストップ)。トムスは06年からの参戦でありながらすでに33勝を挙げて歴代3位となっている。



インバルの星野一義監督(左)

チームタイトル獲得回数

1	インバル	7回(03、04、05、06、07、08、10年)
2	トムス	5回(11、13、14、15、20年)
3	ナカジマ	4回(99、00、02、09年)
4	チームルマン	2回(96、98年)
	セルモ・インギング	2回(16、17年)
	ダンディライアン	2回(12、19年)
7	ノバ	1回(97年)
	5ZIGEN	1回(01年)
	KONDO	1回(18年)

▲インバルは03~08年に6連覇を達成。25シーズン中、17シーズンがドライバー&チームの2冠達成というかたちになっている。

チーム別ドライバーズチャンピオン輩出回数

1	インバル	7回(01、03、05、06、07、08、10年)
2	ナカジマ	4回(99、00、02、09年)
	トムス	4回(11、12、14、19年)
4	セルモ・インギング	3回(15、16、17年)
5	チームルマン	2回(96、98年)
	無限	2回(13年、18年)
	ダンディライアン	2回(04、20年)
8	ノバ	1回(97年)

◀タイトルが「割れた」のは01年、04年、12年、13年、15年、18年、19年、20年の8シーズン。無限はチームタイトルの獲得はなく、ダンディライアンは2度あるが、ダブルタイトルの経験はない。

肖像権および知的所有権、著作物制作権について

SUPER FORMULA のエンタラントに帰属するすべての者（エンタラント代表、チーム監督、ドライバー、チームスタッフ、レースクイーンほか）はエンタラントの管理下に置かれ、SUPER FORMULA に参加することで発生する肖像権および知的所有権はすべてエンタラントに帰属します。但し、それらを用いて著作物を制作する、又は制作させる権利（著作物制作権）は全てその用途に関わらず全て株式会社日本レースプロモーション（JRP）に帰属します。詳しくは JRP までお問い合わせください。

SUPER FORMULAのロゴ使用について

SUPER FORMULA のロゴ使用に際しては、『SUPER FORMULA VISUAL IDENTITY Regulation (V.I. 規定)』を参照してください。SUPER FORMULA の各ロゴの使用権利はすべて JRP にあり、許可なくこれを使用することを禁止します。詳しくは JRP にお問い合わせください。

会社概要

会社名	株式会社日本レースプロモーション（JAPAN RACE PROMOTION INC.）
設立	1995年
資本金	6000万円
所在地	東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル
電話番号	03-3237-0131
FAX 番号	03-3237-0135
公式サイト	http://www.superformula.net/

主な事業内容：自動車競技会の運営に関する業務、自動車競技会のプロモーション、自動車競技会のスポンサー営業に関する業務、自動車競技会の PR に関する代理業務、自動車競技会／同映像のデータベース制作・管理・販売、モータースポーツに関連する調査、マーケティング業務、報道写真・ビデオ・フィルム等の制作、配信及び販売

沿革

1995年	株式会社日本レースプロモーション設立。
1996年	「全日本F3000選手権シリーズ」にかわり、「全日本選手権フォーミュラ・ニッポン」シリーズがスタート。フジテレビ地上波放送がスタート。（～2009年）
1997年	タイヤを株式会社ブリヂストンのワンメイクとする。J SPORTSでレースの生中継放送がスタート。
1998年	株式会社フジテレビジョンが資本参加。
2003年	ワンメイクシャシー“LOLA B351”を導入。
2006年	シャシーを“FN06 (LOLA B06/51)”に変更。 本田技研工業株式会社、トヨタ自動車株式会社がV型8気筒3ℓの専用エンジン供給を開始。 若手育成事業として「Formula Challenge Japan (FCJ)」の運営・プロモートを開始。（～2013年6月）
2009年	シャシーを“FN09 (SWIFT 017.n)”に変更。 エンジンをV型8気筒3.4ℓに変更すると同時に、オーバーテイクシステムを採用。
2010年	BSフジでレースダイジェスト番組の放送スタート。（2015年、「スーパーフォーミュラGo On!」に改名）
2011年	ファミリー層を対象としたプロモーションイベント「Enjoy Kids」を、9月に宮城県名取市、11月に栃木県宇都宮市で開催。 名取市でのイベントは東日本大震災の復興を願って開催。（2012年、「Smile Kids」に改名）
2013年	シリーズ名称を「全日本選手権スーパーフォーミュラ」に変更。（“スーパーフォーミュラ”の名称はファンからの公募）
2014年	ダラーラ社製シャシーを使用した新マシン“SF14”を導入。 パワーユニットをターボ過給・直列4気筒2ℓダイレクトインジェクションエンジンとする。 エンジンの開発・供給は本田技研工業株式会社とトヨタ自動車株式会社が担当。 日立オートモティブシステムズ株式会社、スカパーJSAT株式会社が新たにプロモーションパートナーとなる。
2016年	横浜ゴム株式会社がオフィシャルタイヤサプライヤーとなり、ヨコハマタイヤのワンメイクとなる。 選手権名称を「全日本スーパーフォーミュラ選手権」に改称。 スカパーJSAT株式会社に代わり、ソニー株式会社が新たなプロモーションパートナーとなる。 4月、フジテレビでドライバーがMCを務めるバラエティ番組「超速GO音」の放送がスタート。（～2016年10月）
2017年	4月、BSフジで日曜決勝レースの生中継放送がスタート。
2019年	新シャシー“SF19”を導入。